

能勢町の男女共同参画に関する 意識調査報告書

【町民】

令和7（2025）年10月

大阪府 能勢町

目次

1. 調査の概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査期間と調査方法.....	1
3. 調査対象と回収状況.....	1
4. 報告書の見方.....	1
5. 属性別回答状況.....	2
6. 標本誤差について.....	3
2. 調査結果.....	4
1. 男女平等に関する意識についてお尋ねします.....	4
2. 家庭生活に関する意識についてお尋ねします.....	12
3. 仕事や働き方についてお尋ねします.....	29
4. 男女間の暴力（DV）についてお尋ねします.....	40
5. 様々な活動と男女共同参画との関わりについてお尋ねします.....	48
7. 能勢町への要望についてお尋ねします.....	55
8. 最後に、あなた自身についてお尋ねします.....	58

1. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、「第3次能勢町男女共同参画プラン」の策定にあたり、町内の住民の皆様を対象に、男女共同参画に関するお考えや現状などを把握し、施策の充実を図る基礎資料とすることを目的として実施しました。

2. 調査期間と調査方法

- ・調査期間：令和7年7月10日から令和7年7月31日
- ・調査方法：郵送により配布・回収。またはインターネット回答（調査票にインターネット回答用ID・パスワードを貼付。郵送・インターネット回答ともに無記名で回答）

3. 調査対象と回収状況

対象	抽出方法	配布数	回収数	回収率
〈町民〉16歳以上の町民	無作為抽出	1,500人	389人 (79人)	25.9% (5.3%)

() 内はインターネット回答の数

4. 報告書の見方

- 集計結果はすべて、小数点第2位を四捨五入しているため、比率(%)の合計が100%にならないことがあります。
- 図表及び解説文では、回答の選択肢の文言を短縮している場合があります。
- 階層集計の比率(%)は、すべて各階層の該当対象者数を100として算出しています。
- 回答比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出した。2つ以上の回答を求める設問では、比率(%)の合計は100%を超えています。
- 図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- 文章で回答いただいた内容については、原則として原文のまま掲載しています。なお、明らかな誤字・脱字は訂正するとともに、特定の個人や団体等が判別でき、その権利や利益を侵害する恐れがあるなど、公表することが適切でない判断した表現については一部修正している場合があります。
- クロス集計表は回答の多い上位2項目に網掛け（「不明・無回答」等を除く）を行っています。また、性別を「答えたくない」と回答された方の結果については、クロス集計表には記載していますが、母数が少ないため分析文には記載していません。また、クロス集計表の区分（性別・年齢別等の表側項目）には、「不明・無回答」を含んでいないため、区分の合計が全体の「n (number of case)」と一致しないことがあります。

5. 属性別回答状況

「年代」「配偶者の有無」「世帯構成」について、令和2年国勢調査結果と本調査の回答者の比率を比較すると、性別については、実際の構成比と概ね近似していますが、年代については、実際の人口分布に比べて「50～59歳」、「60～69歳」の割合が高く、「70歳以上」の割合が低くなっています。また、配偶者の有無については、実際の構成比より「結婚している」割合が高く、世帯構成については、「親と子ども（二世帯世帯）」の割合が高くなっています。

		令和2年国勢調査結果		本調査の回答者	
		実数	比率	実数	比率
性別	女性	4,361	52.3	216	55.5
	男性	3,985	47.7	168	43.2
	答えたくない・分からない・不明・無回答（不詳）	—	—	5	1.3
年代	15～19歳	302	3.6	8	2.1
	20～29歳	555	6.6	17	4.4
	30～39歳	602	7.2	22	5.7
	40～49歳	962	11.5	46	11.8
	50～59歳	1,358	16.3	93	23.9
	60～69歳	1,752	21.0	160	41.1
	70歳以上	2,815	33.7	37	9.5
	不明・無回答（不詳）	—	—	6	1.5
配偶者の有無	結婚している	4,913	58.9	266	68.4
	結婚していない	2,036	24.4	85	21.9
	離別・死別した	1,274	15.3	33	8.5
	不明・無回答（不詳）	123	1.5	5	1.3
計（国勢調査結果の計は年齢不詳・15歳未満除く）		8,346	100.0	389	100.0
世帯構成	一人暮らし（単身世帯）	855	10.2	29	7.5
	夫婦のみ又はパートナーと同居（一世帯世帯）	2,230	26.7	123	31.6
	親と子ども（二世帯世帯）	2,287	27.4	162	41.6
	親と子どもと孫（三世帯世帯）	1,317	15.8	32	8.2
	その他	1,294	15.5	37	9.5
	不明・無回答（不詳）	0	0.0	6	1.5
計（国勢調査結果の計は「施設等の世帯」を除く一般世帯人員数）		7,983	58.7	389	200.0

6. 標本誤差について

階層集計の結果を見る際には、各区分の回収数に違いがあるため、注意が必要です。以下に表示している通り、回収数が少ない区分では標本誤差（標本調査において標本から得られた推定値と母集団の真の値との差）が大きくなることから、回答割合に差があっても、その差をそのまま特徴として捉えにくい場合があります。特に、15～39 歳などの回答数の少ない区分については参考として確認し、全体の傾向や他の設問の結果もあわせて確認することも必要です。

N：母集団数 n：回収数 P：測定値（回答の比率） ※有限母集団補正を適用

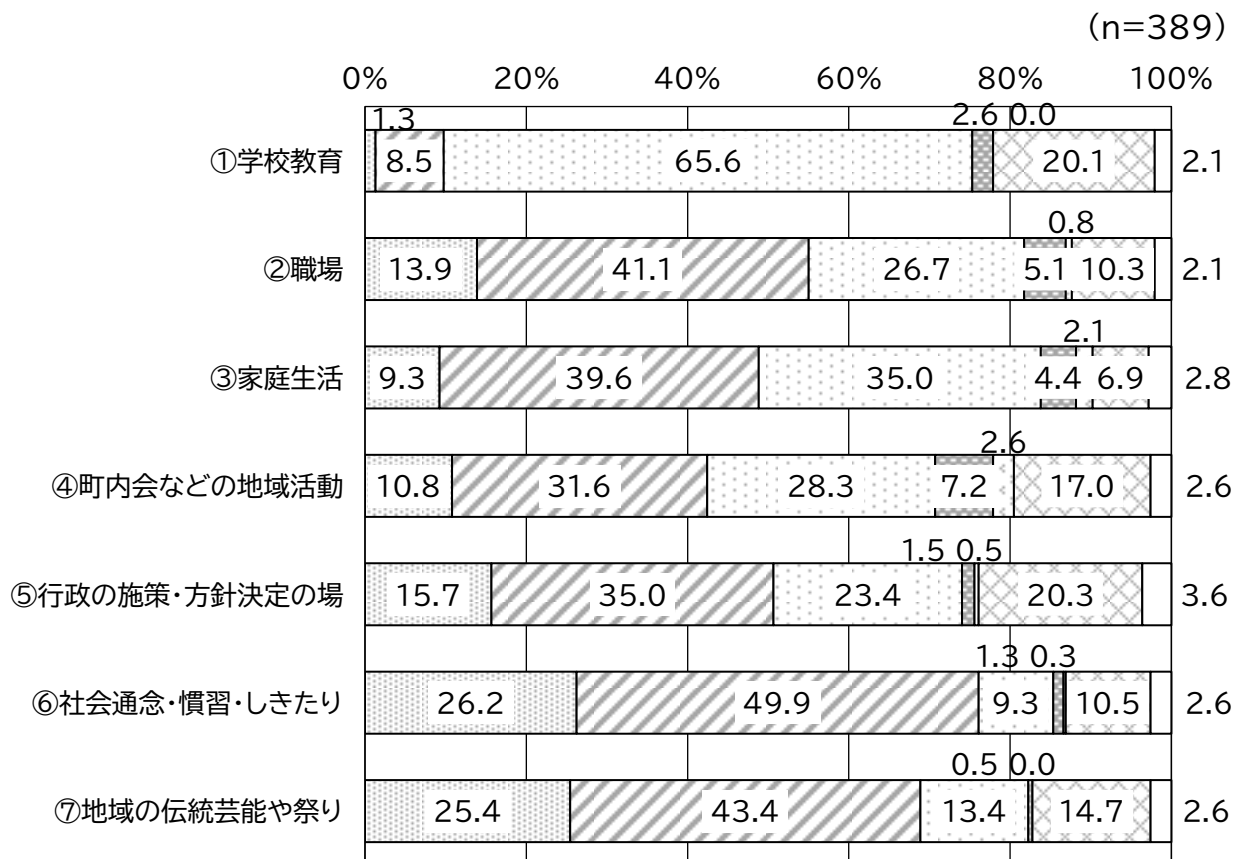
		回収状況			標本誤差（95%信頼水準）		
		母集団数 N	回答者数 n	回収率	P=50%	P=20%	P=10%
性別	女性	4,361	216	5.0	6.5	5.2	3.9
	男性	3,985	168	4.2	7.4	5.9	4.4
年代	15～19歳	302	8	2.6	34.2	27.4	20.5
	20～29歳	555	17	3.1	23.4	18.7	14.1
	30～39歳	602	22	3.7	20.5	16.4	12.3
	40～49歳	962	46	4.8	14.1	11.3	8.5
	50～59歳	1,358	93	6.8	9.8	7.8	5.9
	60～69歳	1,752	160	9.1	7.4	5.9	4.4
	70歳以上	2,815	37	1.3	16.0	12.8	9.6

2. 調査結果

1. 男女平等に関する意識についてお尋ねします

問1 次に掲げる7つの分野において、男女がどの程度、平等になっていると思いますか？ あなたの考えに近い番号をそれぞれ1つ選んでください（○をつけてください）

全体では「男性の方が優遇されている」または「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した方の合計割合は「⑥社会通念・慣習・しきたり」で7割を超えて高く、「⑦地域の伝統芸能や祭り」が7割弱となっています。「平等である」は「①学校教育」が65.6%と高くなっています。



- | | |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 男性の方が優遇されている | <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば男性の方が優遇されている |
| <input checked="" type="checkbox"/> 平等である | <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば女性の方が優遇されている |
| <input checked="" type="checkbox"/> 女性の方が優遇されている | <input checked="" type="checkbox"/> わからない |
| <input checked="" type="checkbox"/> 不明・無回答 | |

【クロス集計】 問1：男女が平等になっていると思うか ①学校教育

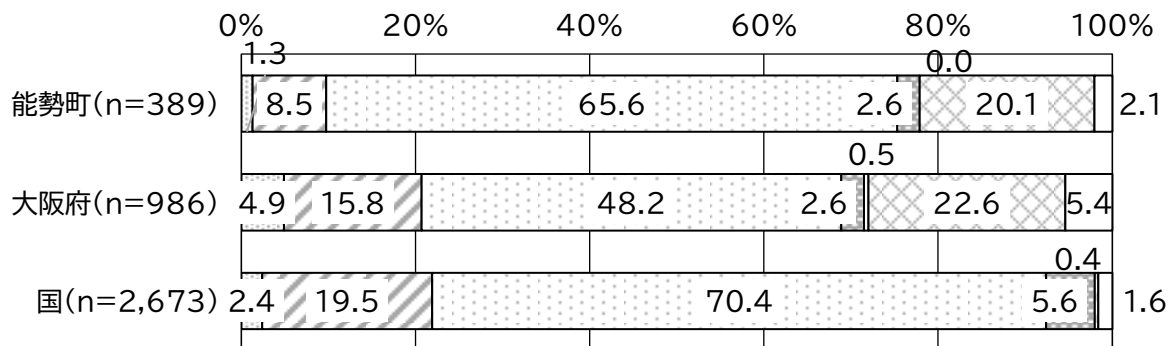
性別・年齢別にみると、いずれの区分においても「平等である」の割合が高くなっています。

		(n)	優男 遇性 さの れ方 てが いる	優ばど 遇男 さ性 れのか て方 とい が い る	平 等 で あ る	優ばど 遇女 さ性 れのか て方 とい が い る	優女 遇性 さの れ方 てが いる	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		389	1.3	8.5	65.6	2.6	0.0	20.1	2.1
性別	女性	216	0.9	9.3	64.8	1.4	0.0	21.8	1.9
	男性	168	1.8	7.7	66.7	4.2	0.0	17.3	2.4
	答えたくない、分からない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
年齢	15～19歳	8	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	20～29歳	17	5.9	0.0	47.1	5.9	0.0	35.3	5.9
	30～39歳	22	4.5	4.5	68.2	9.1	0.0	13.6	0.0
	40～49歳	46	0.0	8.7	67.4	2.2	0.0	17.4	4.3
	50～59歳	93	1.1	9.7	62.4	1.1	0.0	22.6	3.2
	60～69歳	160	1.3	8.8	67.5	3.1	0.0	18.8	0.6
	70歳以上	37	0.0	10.8	67.6	0.0	0.0	18.9	2.7

【大阪府・国の調査結果との比較（参考）】 問1：男女が平等になっていると思うか ①学校教育

大阪府・国（ともに令和6年実施分）の調査結果と比較すると、いずれも「平等である」の割合が高く、国が70.4%、能勢町が65.6%、大阪府が48.2%となっています。

また、能勢町では、『男性優遇』（「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた割合）の割合が、大阪府・国と比較して低くなっています。



<input checked="" type="checkbox"/> 男性の方が優遇されている	<input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば男性の方が優遇されている
<input type="checkbox"/> 平等である	<input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば女性の方が優遇されている
<input checked="" type="checkbox"/> 女性の方が優遇されている	<input checked="" type="checkbox"/> わからない
<input type="checkbox"/> 不明・無回答	

※国の調査では「わからない」の選択肢は無し。

【クロス集計】 問1：男女が平等になっていると思うか ②職場

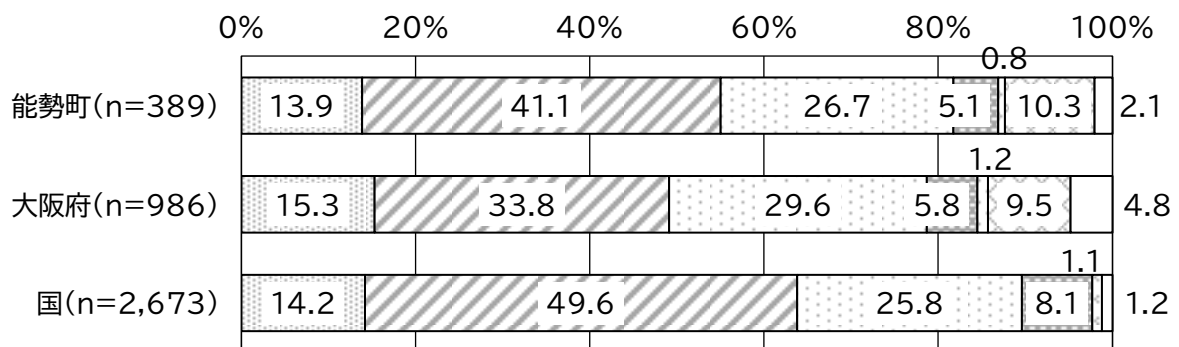
性別にみると、いずれの区分においても「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。

年齢別にみると、20～29歳で「平等である」の割合が高くなっています。

		(n)	優男 遇性 さの れ方 てが いる	優ばど 遇男 さ性 れのか て方 てが いる	平 等 で あ る	優ばど 遇女 さ性 れのか て方 てが いる	優女 遇性 さの れ方 てが いる	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		389	13.9	41.1	26.7	5.1	0.8	10.3	2.1
性別	女性	216	15.3	42.1	26.4	1.4	0.5	12.5	1.9
	男性	168	11.9	39.9	27.4	9.5	1.2	7.7	2.4
	答えたくない、分からない	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	15～19歳	8	12.5	37.5	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	20～29歳	17	11.8	23.5	41.2	5.9	0.0	11.8	5.9
	30～39歳	22	13.6	45.5	18.2	0.0	4.5	18.2	0.0
	40～49歳	46	10.9	37.0	26.1	8.7	0.0	13.0	4.3
	50～59歳	93	17.2	40.9	23.7	7.5	2.2	5.4	3.2
	60～69歳	160	15.0	43.8	27.5	3.8	0.0	9.4	0.6
	70歳以上	37	2.7	43.2	32.4	2.7	0.0	16.2	2.7

【大阪府・国の調査結果との比較（参考）】 問1：男女が平等になっていると思うか ②職場

大阪府・国の調査結果と比較すると、いずれも『男性優遇』（「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた割合）の割合が高く、国が63.8%、能勢町が55.0%、大阪府が49.1%となっています。



- 男性の方が優遇されている
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等である
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が優遇されている
- わからない
- 不明・無回答

※国の調査では「わからない」の選択肢は無し。

【クロス集計】 問1：男女が平等になっていると思うか ③家庭生活

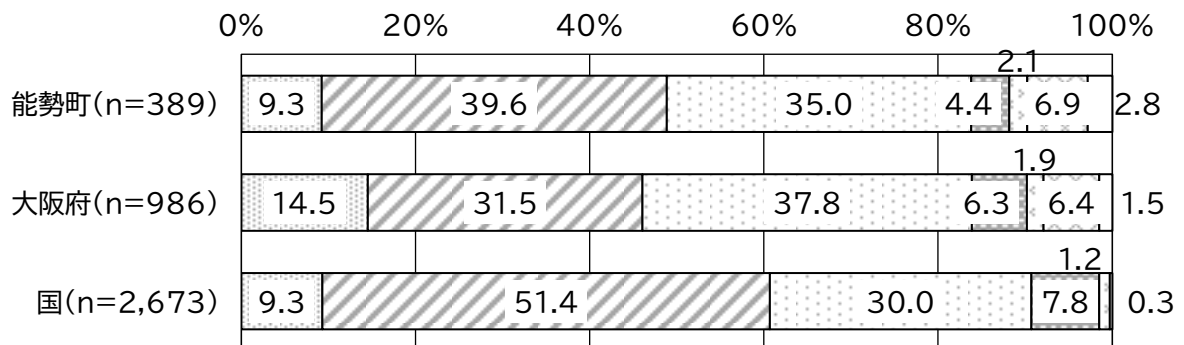
性別にみると、女性で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、男性で「平等である」の割合が高くなっています。

年齢別にみると、15～19歳、30～39歳で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が50.0%で最も高くなっています。

		(n)	優男 遇性 さの れ方 てが いる	優ばど 遇男 さ性 れのか て方 てが いる	平 等 で あ る	優ばど 遇女 さ性 れのか て方 てが いる	優女 遇性 さの れ方 てが いる	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		389	9.3	39.6	35.0	4.4	2.1	6.9	2.8
性別	女性	216	12.5	42.6	31.9	2.8	0.5	7.4	2.3
	男性	168	5.4	35.7	39.3	6.5	3.0	6.5	3.6
	答えたくない、分からない	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	15～19歳	8	25.0	50.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0
	20～29歳	17	0.0	35.3	35.3	11.8	5.9	0.0	11.8
	30～39歳	22	13.6	50.0	27.3	4.5	0.0	4.5	0.0
	40～49歳	46	8.7	34.8	34.8	6.5	2.2	8.7	4.3
	50～59歳	93	8.6	44.1	32.3	2.2	2.2	7.5	3.2
	60～69歳	160	11.3	40.0	36.3	3.1	1.3	6.3	1.9
	70歳以上	37	0.0	29.7	45.9	10.8	0.0	10.8	2.7

【大阪府・国の調査結果との比較（参考）】 問1：男女が平等になっていると思うか ③家庭生活

大阪府・国の調査結果と比較すると、いずれも『男性優遇』（「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた割合）の割合が高く、国が60.7%、能勢町が48.9%、大阪府が46.0%となっています。



- 男性の方が優遇されている
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等である
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が優遇されている
- わからない
- 不明・無回答

※国の調査では「わからない」の選択肢は無し。

【クロス集計】問1：男女が平等になっていると思うか ④町内会などの地域活動

性別にみると、男性より女性の方が「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合がやや高くなっています。

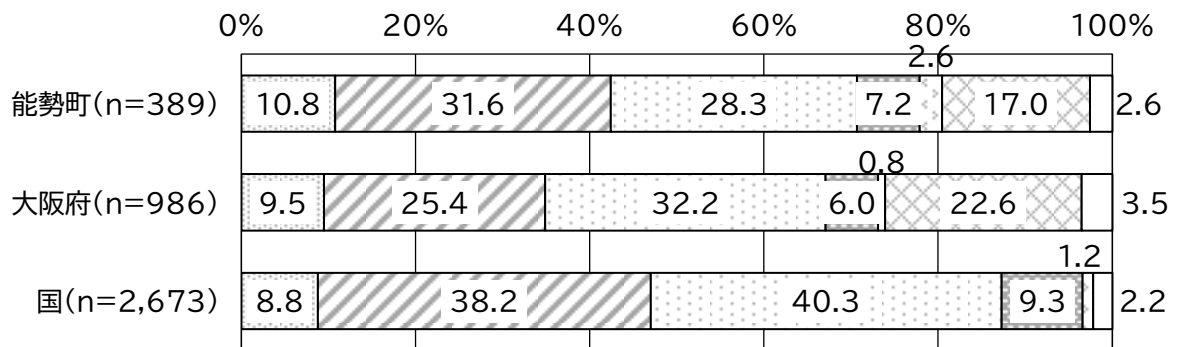
年齢別にみると、15～19歳で「平等である」が50.0%で最も高くなっています。

		(n)	優男 遇性 さの れ方 てが いる	優ばど 遇男ち さ性ら れのか て方と いがい るえ	平 等 で あ る	優ばど 遇女ち さ性ら れのか て方と いがい るえ	優女 遇性 さの れ方 てが いる	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		389	10.8	31.6	28.3	7.2	2.6	17.0	2.6
性別	女性	216	12.5	34.7	24.1	3.7	1.9	21.3	1.9
	男性	168	8.9	27.4	33.9	11.9	3.6	10.7	3.6
	答えたくない、分からない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
年齢	15～19歳	8	12.5	12.5	50.0	12.5	0.0	12.5	0.0
	20～29歳	17	17.6	23.5	41.2	0.0	5.9	5.9	5.9
	30～39歳	22	9.1	40.9	9.1	4.5	4.5	31.8	0.0
	40～49歳	46	13.0	30.4	23.9	2.2	2.2	21.7	6.5
	50～59歳	93	9.7	24.7	28.0	11.8	6.5	16.1	3.2
	60～69歳	160	11.9	33.8	28.8	8.1	0.6	16.3	0.6
	70歳以上	37	2.7	40.5	35.1	2.7	0.0	13.5	5.4

【大阪府・国の調査結果との比較（参考）】問1：男女が平等になっていると思うか ④町内会などの地域活動

大阪府・国の調査結果と比較すると、能勢町では「平等である」の割合が国・大阪府と比べて低くなっています。

※「町内会などの地域活動」は大阪府では「地域活動の場で（自治会、PTA、民生委員、NPOやボランティアでの活動など）」、国では「自治会やPTAなどの地域活動の場」となっています。



- 男性の方が優遇されている
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等である
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が優遇されている
- わからない
- 不明・無回答

※国の調査では「わからない」の選択肢は無し。

【クロス集計】問1：男女が平等になっていると思うか ⑤行政の施策・方針決定の場

性別にみると、女性より男性の方が「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合がやや高くなっています。

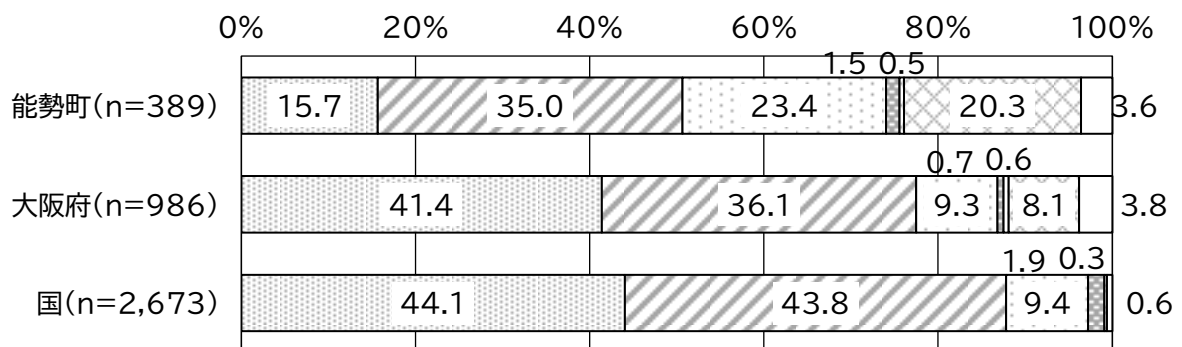
年齢別にみると、30～39歳で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が40.9%で最も高くなっています。

		(n)	優男 遇性 さの れ方 てが いる	優ばど 遇男 さ性 れのか て方 てが いる	平 等 で あ る	優ばど 遇女 さ性 れのか て方 てが いる	優女 遇性 さの れ方 てが いる	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		389	15.7	35.0	23.4	1.5	0.5	20.3	3.6
性別	女性	216	19.0	34.3	19.4	0.9	0.9	21.8	3.7
	男性	168	10.7	36.3	28.0	2.4	0.0	19.0	3.6
	答えたくない、分からない	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	15～19歳	8	12.5	12.5	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	20～29歳	17	23.5	23.5	23.5	0.0	0.0	17.6	11.8
	30～39歳	22	18.2	40.9	13.6	0.0	0.0	27.3	0.0
	40～49歳	46	13.0	28.3	21.7	0.0	2.2	28.3	6.5
	50～59歳	93	19.4	35.5	18.3	4.3	0.0	19.4	3.2
	60～69歳	160	13.8	39.4	25.6	1.3	0.6	16.9	2.5
	70歳以上	37	10.8	29.7	32.4	0.0	0.0	21.6	5.4

【大阪府・国の調査結果との比較（参考）】問1：男女が平等になっていると思うか ⑤行政の施策・方針決定の場

大阪府・国の調査結果と比較すると、能勢町では『男性優遇』（「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた割合）の割合が低くなっています。

※「行政の施策・方針決定の場」は大阪府、国では「政治の場」となっています。



- 男性の方が優遇されている
- 平等である
- 女性の方が優遇されている
- 不明・無回答
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- わからない

※国の調査では「わからない」の選択肢は無し。

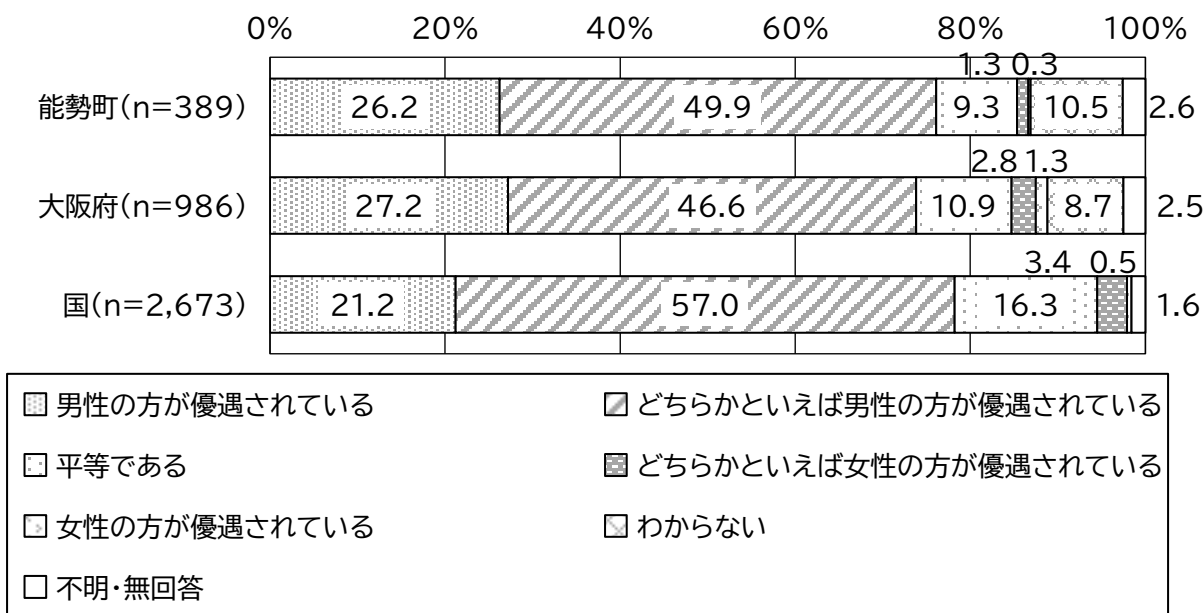
【クロス集計】 問1：男女が平等になっていると思うか ⑥社会通念・慣習・しきたり

性別にみると、男性より女性の方が「男性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。
 年齢別にみると、20～29歳、30～39歳で「男性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。

		(n)	優男性 遇さ のれ 方 が い る	優ばど 遇男 さち の性 れか 方 と い が い る え	平 等 で あ る	優ばど 遇女 さち の性 れか 方 と い が い る え	優女 遇性 さの れ方 が い る	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		389	26.2	49.9	9.3	1.3	0.3	10.5	2.6
性別	女性	216	31.0	47.7	6.9	0.5	0.0	11.6	2.3
	男性	168	19.6	53.0	11.9	2.4	0.6	9.5	3.0
	答えたくない、分からない	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	15～19歳	8	25.0	25.0	12.5	0.0	0.0	37.5	0.0
	20～29歳	17	41.2	35.3	11.8	0.0	0.0	5.9	5.9
	30～39歳	22	40.9	40.9	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0
	40～49歳	46	19.6	43.5	10.9	0.0	2.2	19.6	4.3
	50～59歳	93	28.0	48.4	7.5	2.2	0.0	10.8	3.2
	60～69歳	160	25.0	57.5	8.8	1.9	0.0	5.6	1.3
	70歳以上	37	18.9	45.9	10.8	0.0	0.0	18.9	5.4

【大阪府・国の調査結果との比較（参考）】 問1：男女が平等になっていると思うか ⑥社会通念・慣習・しきたり

大阪府・国の調査結果と比較すると、いずれも『男性優遇』（「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた割合）の割合が高く、7割を超えています。



※国の調査では「わからない」の選択肢は無し。

【クロス集計】問1：男女が平等になっていると思うか ⑦地域の伝統芸能や祭り

性別にみると、男性より女性の方が「男性の方が優遇されている」の割合がやや高くなっています。

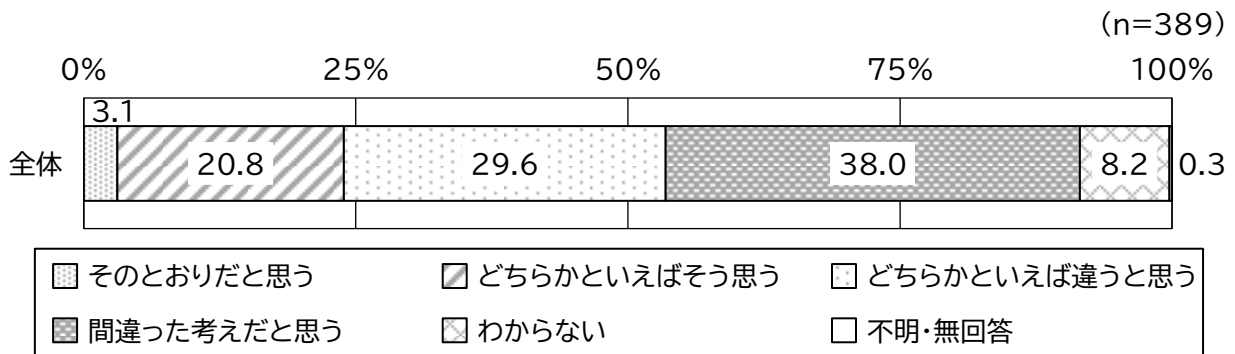
年齢別にみると、20～29歳、30～39歳で「男性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。

		(n)	優男 遇性 さの れ方 てが いる	優ばど 遇男ち さ性ら れのか て方と いがい るえ	平 等 で あ る	優ばど 遇女ち さ性ら れのか て方と いがい るえ	優女 遇性 さの れ方 てが いる	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		389	25.4	43.4	13.4	0.5	0.0	14.7	2.6
性別	女性	216	26.4	43.5	10.2	0.0	0.0	17.1	2.8
	男性	168	23.8	44.0	16.7	1.2	0.0	11.9	2.4
	答えたくない、分からない	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	15～19歳	8	12.5	12.5	25.0	12.5	0.0	37.5	0.0
	20～29歳	17	41.2	17.6	17.6	0.0	0.0	17.6	5.9
	30～39歳	22	31.8	27.3	9.1	0.0	0.0	31.8	0.0
	40～49歳	46	26.1	37.0	15.2	0.0	0.0	17.4	4.3
	50～59歳	93	25.8	49.5	9.7	0.0	0.0	11.8	3.2
	60～69歳	160	25.0	48.8	13.1	0.6	0.0	11.3	1.3
	70歳以上	37	16.2	43.2	16.2	0.0	0.0	18.9	5.4

2. 家庭生活に関する意識についてお尋ねします

問2-1 あなたは「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方についてどのように思われますか？あなたの考えに近い番号1つに○をつけてください。

全体では「間違った考えだと思う」が38.0%で最も高く、次いで「どちらかといえば違うと思う」が29.6%となっています。また、「そのとおりだと思う」は3.1%となっています。



性別にみると、女性と男性ともに「間違った考えだと思う」「どちらかといえば違うと思う」の順に割合が高くなっています。

年齢別にみると、20～29歳、30～39歳で「間違った考えだと思う」が5割を超えて高くなっています。

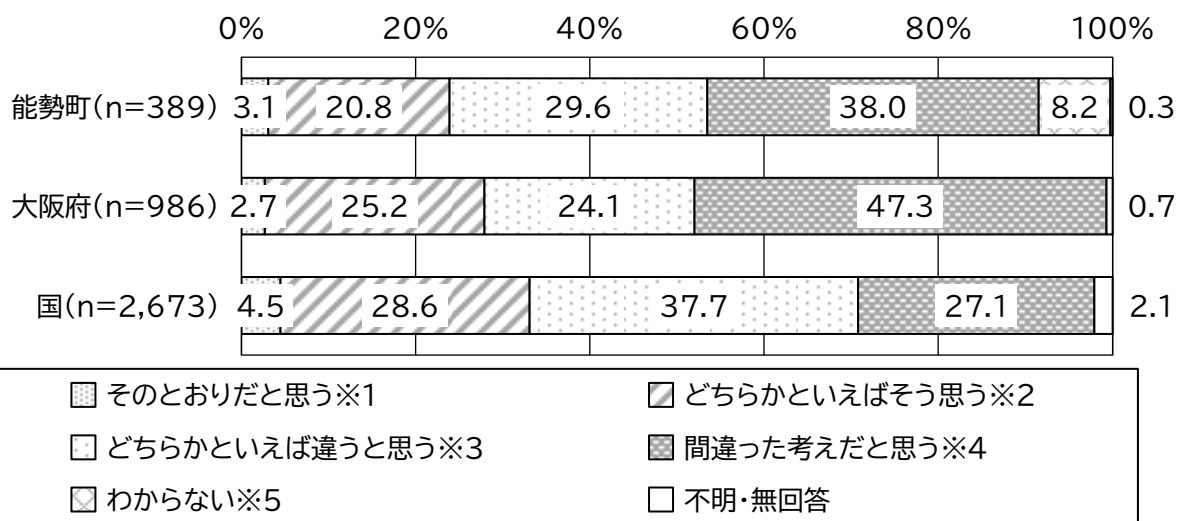
	(n)	その と お り だ と 思 う	そ ど ち ら か と い え ば	違 ど ち ら か と い え ば	思 間 違 つ た 考 え だ と	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答	
全体	389	3.1	20.8	29.6	38.0	8.2	0.3	
性別	女性	216	2.8	19.0	31.9	38.0	7.9	0.5
	男性	168	3.6	23.2	26.8	38.1	8.3	0.0
	答えたくない、分からない	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
年齢	15～19歳	8	0.0	12.5	37.5	37.5	12.5	0.0
	20～29歳	17	0.0	11.8	17.6	58.8	11.8	0.0
	30～39歳	22	4.5	13.6	31.8	50.0	0.0	0.0
	40～49歳	46	4.3	32.6	19.6	32.6	10.9	0.0
	50～59歳	93	2.2	12.9	32.3	39.8	11.8	1.1
	60～69歳	160	1.9	25.0	31.9	35.6	5.6	0.0
	70歳以上	37	10.8	16.2	32.4	32.4	8.1	0.0

性別・年齢別にみると、女性の40～49歳では「どちらかといえばそう思う」が30.8%で最も高くなっています。

		(n)	そのとおりだと思	どちらかといえ	どちらかといえ	間違っ	わからない	不明・無回答
女性	全体	216	2.8	19.0	31.9	38.0	7.9	0.5
	15～19歳	6	0.0	16.7	33.3	33.3	16.7	0.0
	20～29歳	7	0.0	0.0	42.9	42.9	14.3	0.0
	30～39歳	16	6.3	18.8	18.8	56.3	0.0	0.0
	40～49歳	26	3.8	30.8	23.1	26.9	15.4	0.0
	50～59歳	56	0.0	12.5	28.6	48.2	8.9	1.8
	60～69歳	83	1.2	22.9	38.6	32.5	4.8	0.0
	70歳以上	21	14.3	14.3	33.3	28.6	9.5	0.0
男性	全体	168	3.6	23.2	26.8	38.1	8.3	0.0
	15～19歳	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	20～29歳	10	0.0	20.0	0.0	70.0	10.0	0.0
	30～39歳	6	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
	40～49歳	20	5.0	35.0	15.0	40.0	5.0	0.0
	50～59歳	36	5.6	13.9	36.1	27.8	16.7	0.0
	60～69歳	77	2.6	27.3	24.7	39.0	6.5	0.0
	70歳以上	16	6.3	18.8	31.3	37.5	6.3	0.0

【大阪府・国の調査結果との比較（参考）】

大阪府・国の調査結果と比較すると、能勢町では「そのとおりだと思」「どちらかといえばそう思う」の割合が大阪府・国より低くなっています。



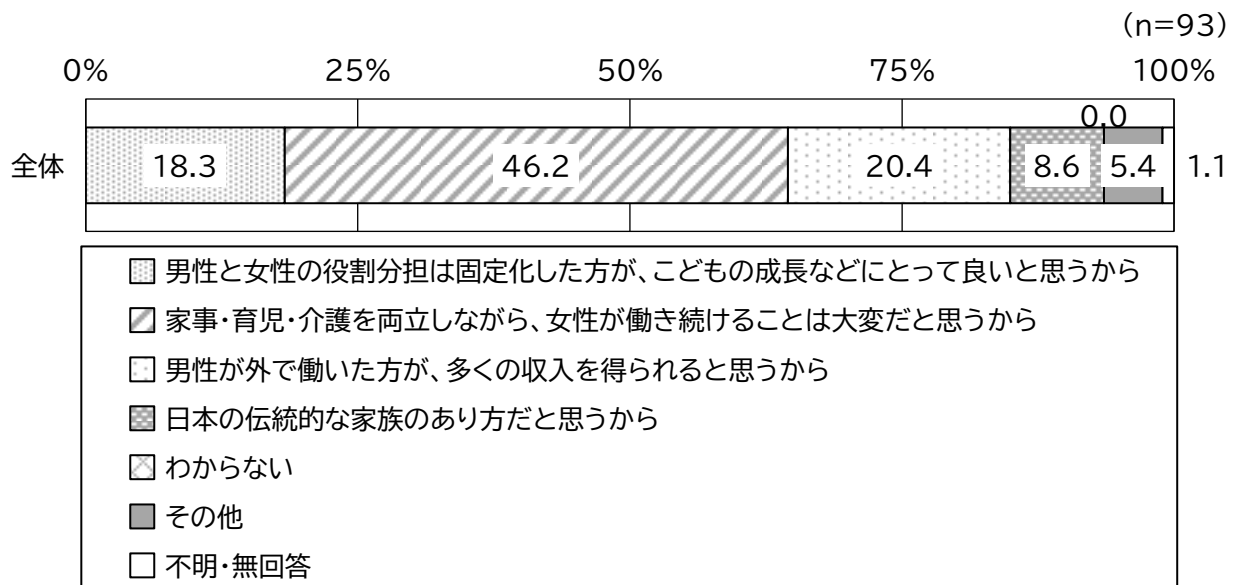
大阪府、国の調査では以下の選択肢の項目となっています。

- ※1 大阪府「そう思う」、国「賛成」
- ※2 大阪府「どちらかといえばそう思う」、国「どちらかといえば賛成」
- ※3 大阪府「どちらかといえばそう思わない」、国「どちらかといえば反対」
- ※4 大阪府「そう思わない」、国「反対」
- ※5 大阪府・国ともに「わからない」の選択肢は無し

〔問2-1で「1」または「2」と回答された方に質問します。〕

問2-2 その理由に近い番号1つに○をつけてください。

全体では「家事・育児・介護を両立しながら、女性が働き続けることは大変だと思うから」が46.2%で最も高く、次いで「男性が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから」が20.4%となっています。



◇「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」と思う理由「その他」の回答

内容	
家庭それぞれの事情により決める必要があると思う。	
夫婦で働かなければ今の家計は成り立たない。	
仕事面では共働きは当然だが、家の仕事面（山仕事・田んぼ等）はやはり男性メイン。役割分担がそうになっているだけに思う。	
どんなに平等になっても出産という仕事が女性の役割である以上その他の役割分担で平等になるにはまだまだムリ。	
男性が家庭にいると周りから非難される	
母が家で帰った子供を迎えてあげることが大事と思う。	
自営業だから	生物的にそうだから
人間というよりは動物の傾向として	

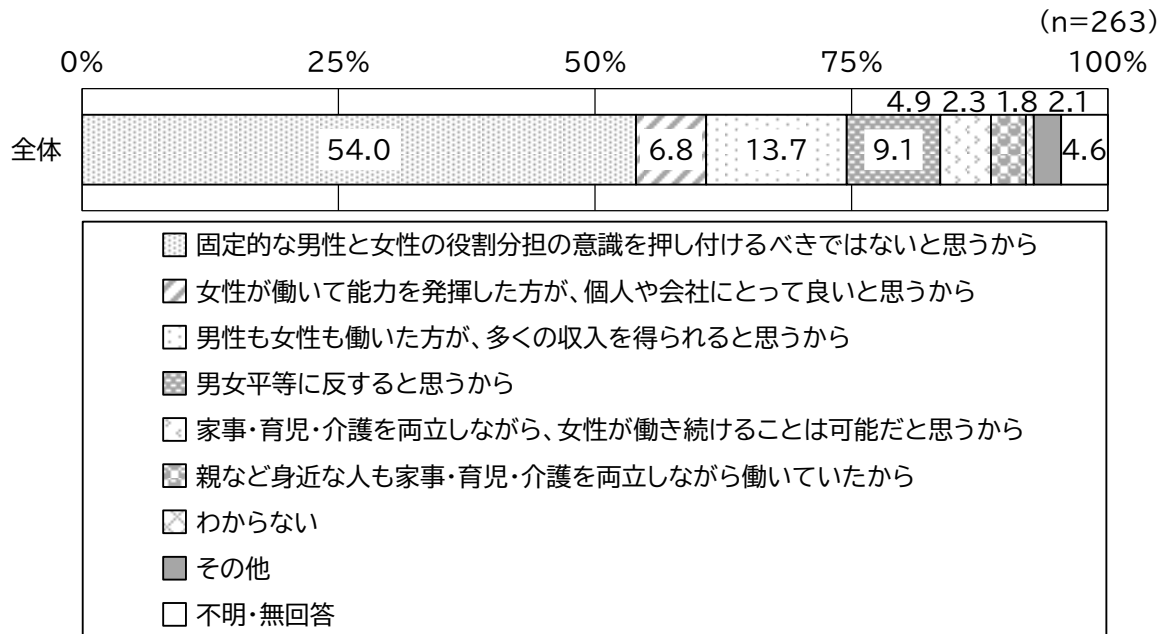
性別にみると、男性より女性の方が「男性が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから」の割合がやや高く、女性より男性の方が「男性と女性の役割分担は固定化した方が、子どもの成長などにとって良いと思うから」の割合がやや高くなっています。

年齢別にみると、30～39歳で「家事・育児・介護を両立しながら、女性が働き続けることは大変だと思うから」が75.0%で最も高くなっています。

		(n)	ど化男 にし性 とた女 つ方性 が良、 いこ役 と思ど割 うの分 か成担 ら長は な固 定	はが大 ら変、 だ女 と思性 う働 かき ら続 け る こ し な	が家事 ら、育 ・育 ・児 が・介 働護 きを 続両 け立 るこ し な	の男 収入 が外 で働 れた 方 が 多 ら く	だ日 と思 の傳 統 的 な 家 族 の あ り 方	わ か ら な い	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体		93	18.3	46.2	20.4	8.6	0.0	5.4	1.1	
性別	女性	47	14.9	46.8	25.5	10.6	0.0	2.1	0.0	
	男性	45	22.2	44.4	15.6	6.7	0.0	8.9	2.2	
	答えたくない、分からない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
年齢	15～19歳	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	20～29歳	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	30～39歳	4	0.0	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0		
	40～49歳	17	11.8	41.2	23.5	0.0	23.5	0.0		
	50～59歳	14	28.6	42.9	28.6	0.0	0.0	0.0		
	60～69歳	43	18.6	46.5	20.9	14.0	0.0	0.0		
	70歳以上	10	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	10.0	10.0	

〔問2-1で「3」または「4」と回答された方に質問します。〕
 問2-3 その理由に近い番号1つに○をつけてください。

全体では「固定的な男性と女性の役割分担の意識を押し付けるべきではないと思うから」が54.0%で最も高くなっています。



◇「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」ではないと思う理由「その他」の回答

内容
男性とか女性とか気にせず働きたい方が働き、家にいたい人が家にいる向き不向きを相談して決めたらいい。
個々の夫婦で状況や環境が違うので、それぞれがある程度納得出来るやり方を取る方が良い。
それぞれの家庭に合ったやり方でやれば良い。
長い間、社会の構造が男性主体で築かれてきたことを考えると、地域や家庭、風習、制度、仕事の在り方までもが、その価値観を土台にして成り立っているように思います。「男女平等」や「分担」「助け合い」といった言葉はよく使われますが、その前提自体がすでに男性主体社会の上でできているとすれば、本当の意味での平等、助け合い、分担とは何かを考えるには、いったんその基盤を意識的に解体し、問い直す必要があるのではないのでしょうか。
そもそも男とか女とかじゃないからこの答えはおかしい。
男女逆もあり。
働いて厚生年金保険料払うべき。

性別にみると、男性より女性の方が「固定的な男性と女性の役割分担の意識を押し付けるべきではないと思うから」の割合が高くなっています。

年齢別にみると、30～39歳、40～49歳で「固定的な男性と女性の役割分担の意識を押し付けるべきではないと思うから」の割合が6割を超えて高くなっています。

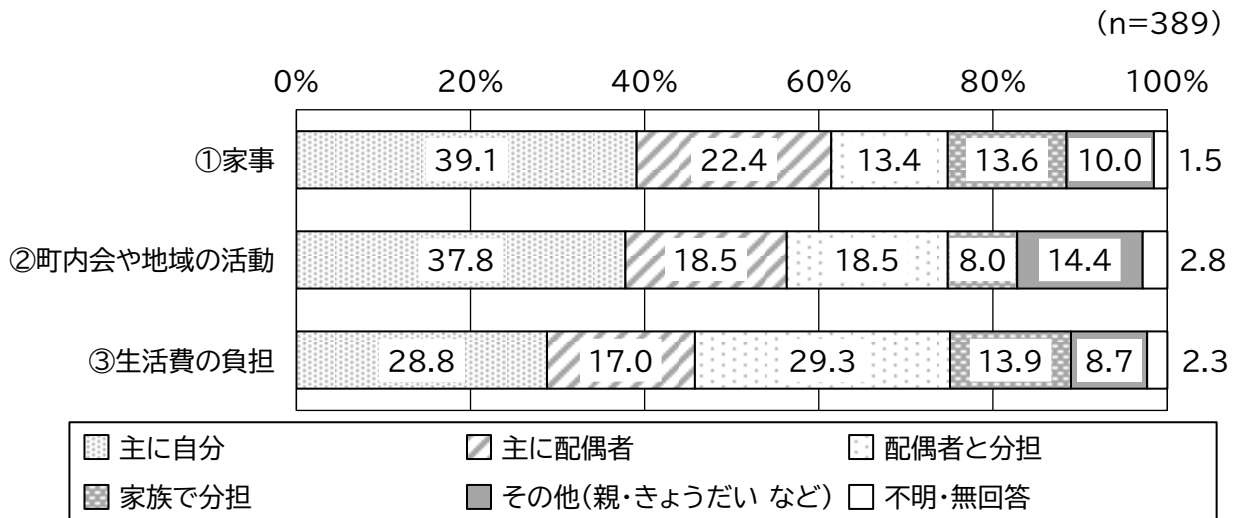
		(n)	き分固 では担 ないの 識意 とを男 うし女 か付け ける役 る割	てた女 良方が いがる と思 う人 や能 力 を に 発 揮 つし	う多男 かくの ら収女 も入性 をも働 得ら れた 方 が 思	ら男女 女平 等に 反す ると 思 う か	こな家 とは事 はら・ 可育 能女 だ性 と思 うが か続 け るし	いて・ 介護 を 近 な 人 も 家 事 ら ・ 働	わ か ら な い	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体		263	54.0	6.8	13.7	9.1	4.9	3.4	0.8	2.7	4.6
性別	女性	151	60.3	4.0	11.3	7.3	4.6	4.0	0.7	3.3	4.6
	男性	109	45.9	10.1	17.4	11.0	5.5	2.8	0.9	1.8	4.6
	答えたくない、分からない	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	15～19歳	6	50.0	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	25.0
	20～29歳	13	46.2	0.0	7.7	7.7	15.4	23.1	0.0	0.0	23.5
	30～39歳	18	61.1	5.6	5.6	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	22.7
	40～49歳	24	62.5	4.2	12.5	8.3	0.0	0.0	0.0	4.2	52.2
	50～59歳	67	52.2	3.0	17.9	10.4	4.5	0.0	1.5	4.5	29.0
	60～69歳	108	53.7	9.3	13.9	8.3	5.6	2.8	0.9	0.9	32.5
	70歳以上	24	58.3	12.5	12.5	4.2	4.2	8.3	0.0	0.0	27.0

性別・年齢別にみると、以下の通りとなっています。

		(n)	き分固 担的 意な 識男 を性 押と し女 付性 けの る役 る割	てた女 良方 いと 思個 う人 からや 会社 に と	う多男 から の 収入 を得 られ る方 が思	ら男 女平 等に 反す ると 思 うか	こ 事 は 可 能 だ と 思 う か ら	家 事 ・ 育 児 ・ 介 護 を 両 立 し な が ら ・ 働	わ か ら な い	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
女性	全体	151	60.3	4.0	11.3	7.3	4.6	4.0	0.7	3.3	4.6
	15～19歳	4	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	6	50.0	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	12	58.3	0.0	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3
	40～49歳	13	61.5	7.7	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7
	50～59歳	43	55.8	2.3	16.3	14.0	2.3	0.0	0.0	4.7	4.7
	60～69歳	59	66.1	5.1	8.5	3.4	5.1	3.4	1.7	1.7	5.1
	70歳以上	13	53.8	7.7	15.4	0.0	7.7	15.4	0.0	0.0	0.0
男性	全体	109	45.9	10.1	17.4	11.0	5.5	2.8	0.9	1.8	4.6
	15～19歳	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	7	42.9	0.0	0.0	14.3	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	6	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
	40～49歳	11	63.6	0.0	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1
	50～59歳	23	43.5	4.3	21.7	4.3	8.7	0.0	4.3	4.3	8.7
	60～69歳	49	38.8	14.3	20.4	14.3	6.1	2.0	0.0	0.0	4.1
	70歳以上	11	63.6	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問3-1 あなたのご家庭では、次の①～③の項目について主に誰が担っていますか？1～5の中からあてはまる番号をそれぞれ1つ選んでください（○をつけてください）。

全体では「主に自分」で「①家事」「②町内会や地域の活動」の割合が最も高く、「配偶者と分担」で「③生活費の負担」の割合が最も高くとなっています。



◇家庭では主に誰が担っているか ①家事「その他」の回答

内容	
親 (17)	祖母

◇家庭では主に誰が担っているか ②町内会や地域の活動「その他」の回答

内容	
親 (15)	両親 (3)
父	母親
父と配偶者	親 (母)
親、兄弟	母
祖母	兄
部活	施設入所
地域活動は拒否しています。	町内会活動は不参加
誰もあてはまらない。	誰も参加していない。

◇家庭では主に誰が担っているか ③生活費の負担「その他」の回答

内容	
親 (11)	両親 (2)
父	兄
施設入所	

【クロス集計】 問 3-1：家庭では主に誰が担っているか ①家事

性別にみると、男性より女性の方が「主に自分」の割合が高く、女性より男性の方が「主に配偶者」の割合が高くなっています。

		(n)	主に自分	主に配偶者	配偶者と分担	家族で分担	うその だ い な ど （ 親 ・ き よ ）	不明・無回答
全体		389	39.1	22.4	13.4	13.6	10.0	1.5
性別	女性	216	61.1	2.8	9.3	13.4	11.1	2.3
	男性	168	11.3	47.6	18.5	13.7	8.3	0.6
	答えたくない、分からない	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【クロス集計】 問 3-1：家庭では主に誰が担っているか ②町内会や地域の活動

性別にみると、男性より女性の方が「主に配偶者」の割合が高く、女性より男性の方が「主に自分」の割合が高くなっています。

		(n)	主に自分	主に配偶者	配偶者と分担	家族で分担	うその だ い な ど （ 親 ・ き よ ）	不明・無回答
全体		389	37.8	18.5	18.5	8.0	14.4	2.8
性別	女性	216	25.0	25.9	19.9	8.3	17.1	3.7
	男性	168	54.8	8.9	16.7	7.7	10.1	1.8
	答えたくない、分からない	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

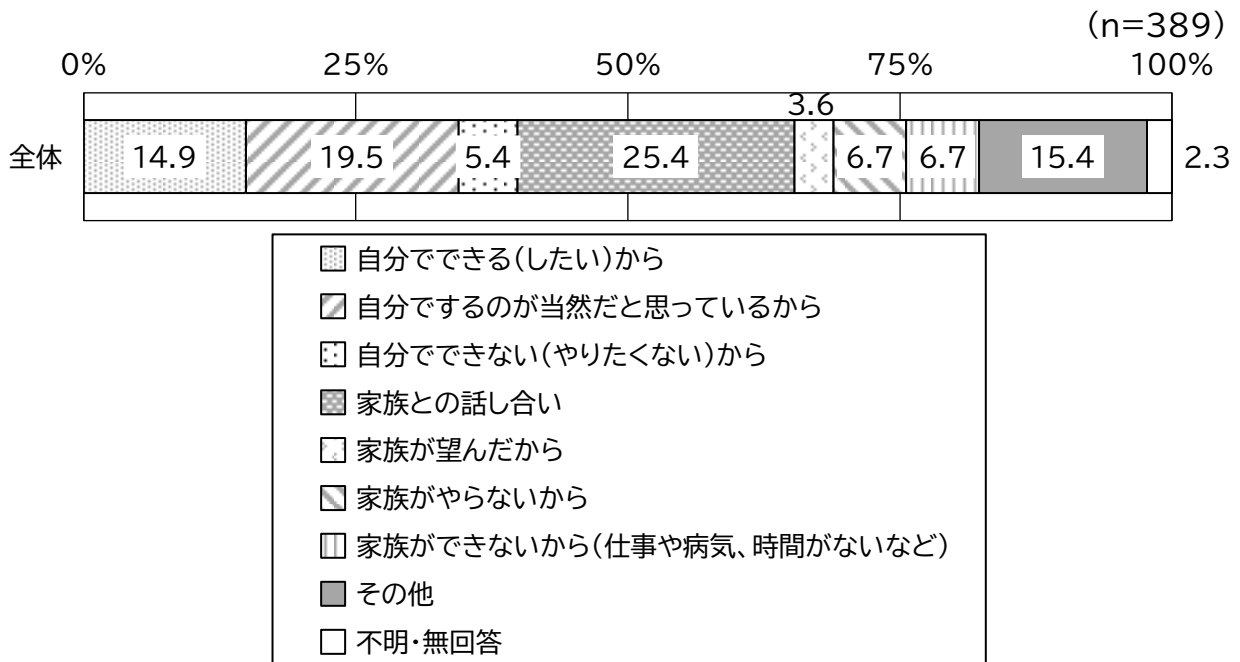
【クロス集計】 問 3-1：家庭では主に誰が担っているか ③生活費の負担

性別にみると、男性より女性の方が「主に配偶者」の割合が高く、女性より男性の方が「主に自分」の割合が高くなっています。

		(n)	主に自分	主に配偶者	配偶者と分担	家族で分担	うその だ い な ど （ 親 ・ き よ ）	不明・無回答
全体		389	28.8	17.0	29.3	13.9	8.7	2.3
性別	女性	216	11.6	29.2	31.0	14.8	10.6	2.8
	男性	168	51.8	0.0	28.0	12.5	6.0	1.8
	答えたくない、分からない	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問3-2 その分担はどのように決めましたか？あてはまる番号1つに○をつけてください。

全体では「家族との話し合い」が25.4%で最も高く、次いで「自分でするのが当然だと思っているから」が19.5%となっています。また、その他の記述回答をみると、「自然に」「流れで」といった回答が多くみられ、これまでの生活習慣や家族内の慣行、本人や家族の状況に応じて、日常の中で役割分担が形成されてきた様子がうかがえます。



◇分担はどのように決まったか「その他」の回答

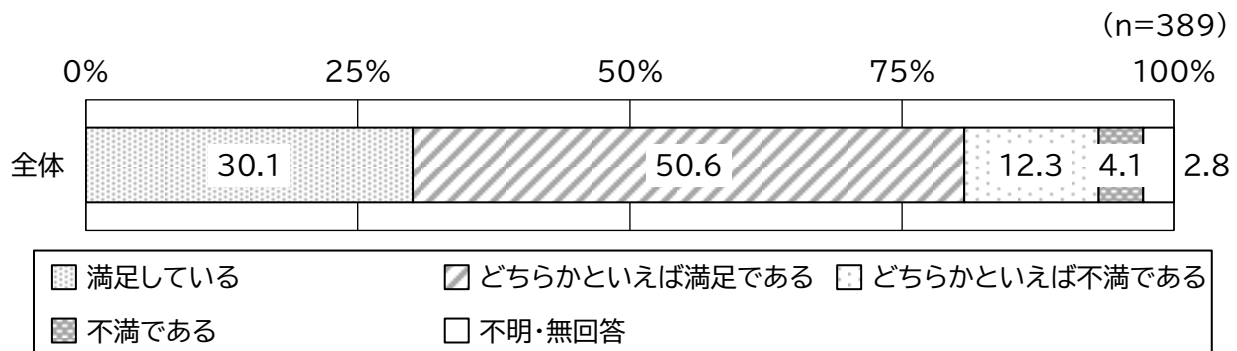
内容	
自然に (9)	その時できる人がする (5)
なんとなく (2)	昔の風調で自然とそうなった
一人暮らし (6)	グループホームなどに入居中のため (4)
死別しているから (2)	シングルマザー
食後の後片付け、ゴミ出しぐらいは出来る	適材適所
当然と思われているから	日常の中で何となく分担する部分もあるので
親から当然の様に言われたから	世の中の流れ
勝手に嫁入り時に決められていた	食事は作っているけど草刈りや仕事は主人がしてくれている
配偶者の意識の変化で徐々に。	自分は何もできないから
今までの流れ	生まれたときからだから
先代からの流れ	専業主婦の時から流れがそのまま

性別にみると、女性は「家族との話し合い」が26.4%、男性で「自分でするのが当然だと思っているから」30.4%で最も高くなっています。

		(n)	（自分で したいで きる）か ら	だ自 分思 つて るの が当 然	り自 た く で な い か ら	家 族 と の 話 し 合 い	家 族 が 望 ん だ か ら	家 族 が や ら な い か ら	が（家 族が でき ない 病 気、 時 間 ）	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体		389	14.9	19.5	5.4	25.4	3.6	6.7	6.7	15.4	2.3
性別	女性	216	15.7	11.6	4.6	26.4	2.3	10.2	8.8	17.1	3.2
	男性	168	14.3	30.4	6.0	23.2	5.4	1.8	4.2	13.7	1.2
	答えたくない、分からない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問3-3 あなたは家庭内での役割分担を全体的に見て、現状に満足していますか？あてはまる番号1つに○をつけてください。

全体では「どちらかといえば満足である」が50.6%で最も高く、次いで「満足している」が30.1%となっています。また、「不満である」は4.1%となっています。



性別にみると、女性より男性の方が「満足している」「どちらかといえば満足である」の割合が高くなっています。

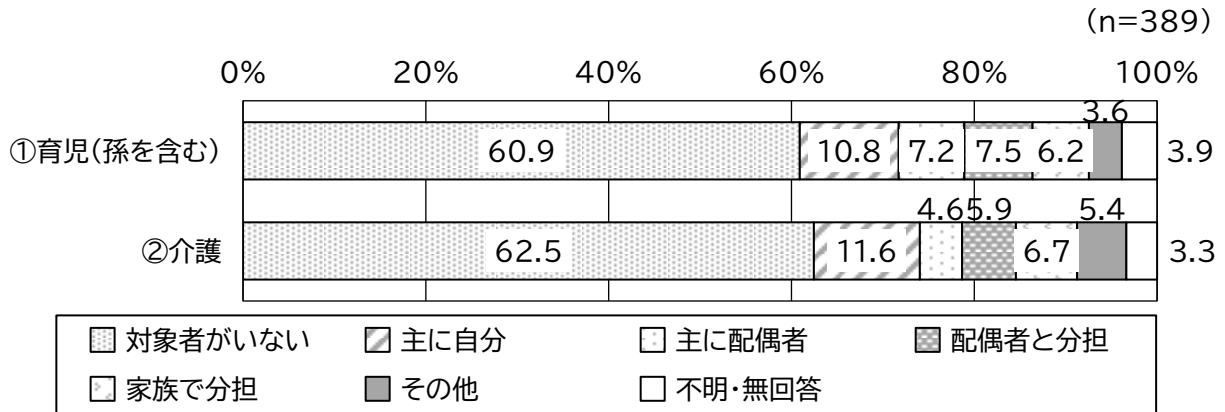
		(n)	満 足 し て い る	満 ど ち ら か と い え ば	不 満 で あ る と い え ば	不 満 で あ る	不 明 ・ 無 回 答
全体		389	30.1	50.6	12.3	4.1	2.8
性別	女性	216	25.0	49.1	16.7	6.5	2.8
	男性	168	36.9	53.0	6.0	1.2	3.0
	答えたくない、分からない	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

性別・年齢別にみると、女性の30～39歳では「不満である」「どちらかといえば不満である」の合計が3割を超え、比較的高くなっています。

		(n)	満足している	どちらかといえば満足である	どちらかといえば不満である	不満である	不明・無回答
女性	全体	216	25.0	49.1	16.7	6.5	2.8
	15～19歳	6	50.0	16.7	33.3	0.0	0.0
	20～29歳	7	28.6	57.1	14.3	0.0	0.0
	30～39歳	16	18.8	43.8	18.8	12.5	6.3
	40～49歳	26	26.9	50.0	15.4	3.8	3.8
	50～59歳	56	25.0	48.2	14.3	10.7	1.8
	60～69歳	83	22.9	50.6	19.3	3.6	3.6
	70歳以上	21	28.6	57.1	9.5	4.8	0.0
男性	全体	168	36.9	53.0	6.0	1.2	3.0
	15～19歳	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	10	30.0	60.0	10.0	0.0	0.0
	30～39歳	6	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	40～49歳	20	30.0	65.0	5.0	0.0	0.0
	50～59歳	36	44.4	50.0	5.6	0.0	0.0
	60～69歳	77	37.7	50.6	5.2	2.6	3.9
	70歳以上	16	25.0	50.0	12.5	0.0	12.5

問3-4 あなたのご家庭では、育児・介護について主に誰が担っていますか？
1～6の中からあてはまる番号をそれぞれ1つ選んでください（○をつけてください）。

全体では「対象者がいない」が「①育児（孫を含む）」で60.9%、「②介護」で62.5%最も高くなっています。



◇家庭では、育児・介護について主に誰が担っているか ①育児(孫を含む)「その他」の回答

内容	
息子達とは別居しています	親
子供は成人している	夫が活着ているときは「配偶者と分担」

◇家庭では、育児・介護について主に誰が担っているか ②介護「その他」の回答

内容	
母(3)	両親が活着ているときは「主に自分」
妻の方の家族のためメインは妻ですが、車の運転はしようとして心掛けています。	兄・姉
義母	病院
親と同居でない	両親他界
現在介護なし	

【クロス集計】 問 3-4：家庭では主に誰が担っているか ①育児（孫を含む）

性別にみると、男性より女性の方が「主に自分」の割合が高く、女性より男性の方が「主に配偶者」の割合が高くなっています。

		(n)	対象者がいない	主に自分	主に配偶者	配偶者と分担	家族で分担	その他	不明・無回答
全体		389	59.9	10.8	7.2	7.5	6.2	4.6	3.9
性別	女性	216	59.3	18.5	0.5	5.6	6.5	5.6	4.2
	男性	168	60.7	1.2	15.5	10.1	6.0	3.0	3.6
	答えたくない、分からない	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【クロス集計】 問 3-4：家庭では主に誰が担っているか ②介護

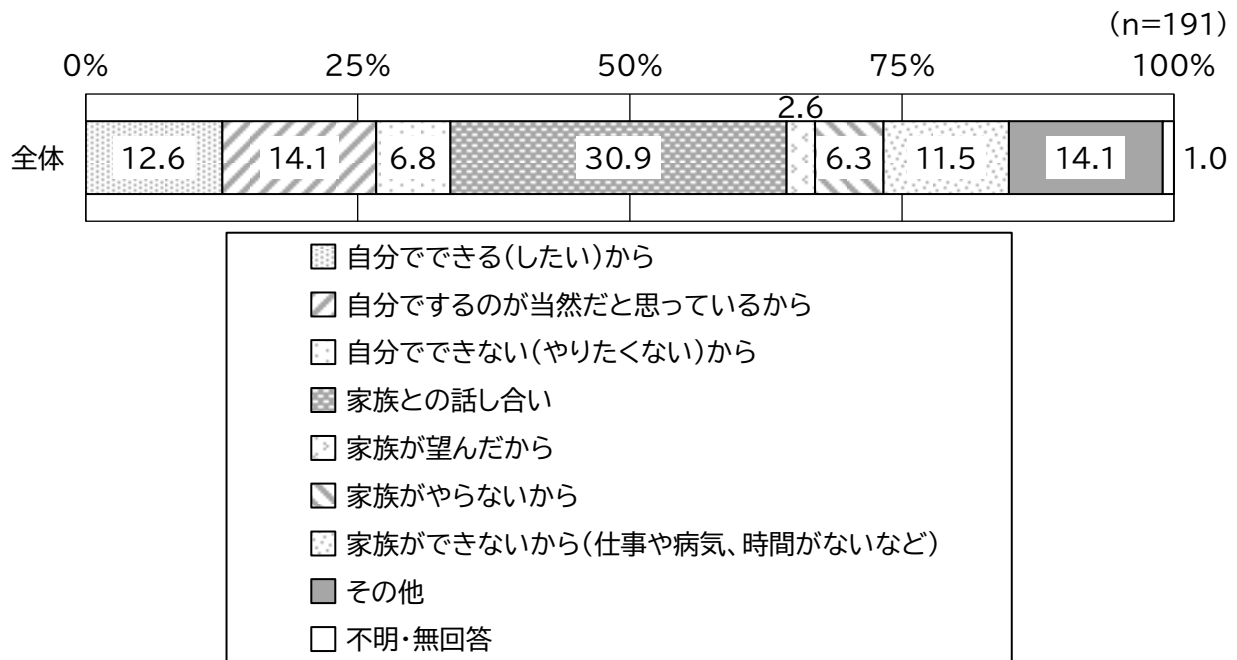
性別にみると、男性より女性の方が「主に自分」の割合が高く、女性より男性の方が「主に配偶者」の割合が高くなっています。

		(n)	対象者がいない	主に自分	主に配偶者	配偶者と分担	家族で分担	その他	不明・無回答
全体		389	62.5	11.6	4.6	5.9	6.7	5.4	3.3
性別	女性	216	63.9	14.8	0.5	5.1	6.9	5.1	3.7
	男性	168	60.7	7.1	10.1	7.1	6.5	5.4	3.0
	答えたくない、分からない	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問3-5 その分担はどのように決めましたか？あてはまる番号1つに○をてください。

※①育児（孫を含む）、②介護ともに「対象者がいない」を選んだ人は回答不要です

全体では「家族との話し合い」が30.9%で最も高くなっています。また、その他の記述回答をみると、「自然に」「代々そんな感じ」「世の中の流れ」などの回答がみられ、家庭内の役割分担が明確な話し合いだけでなく、これまでの生活習慣や家族内の慣行の中で自然に形づくられている様子が見えられます。



◇分担はどのように決まったか「その他」の回答

内容	
自然に (5)	自分しかいないから (3)
その時できる人がする (2)	それぞれできる事をしている (2)
グループホーム入居中 (2)	できる方がして、基本は一緒にする。
代々そんな感じ	世の中の流れ
対象者がいない (2)	適材適所
時間の都合で母しかいないから	勝手に姑・夫から嫁の仕事と言われてやらされた
二人暮らしで自分が親の面倒を見る	

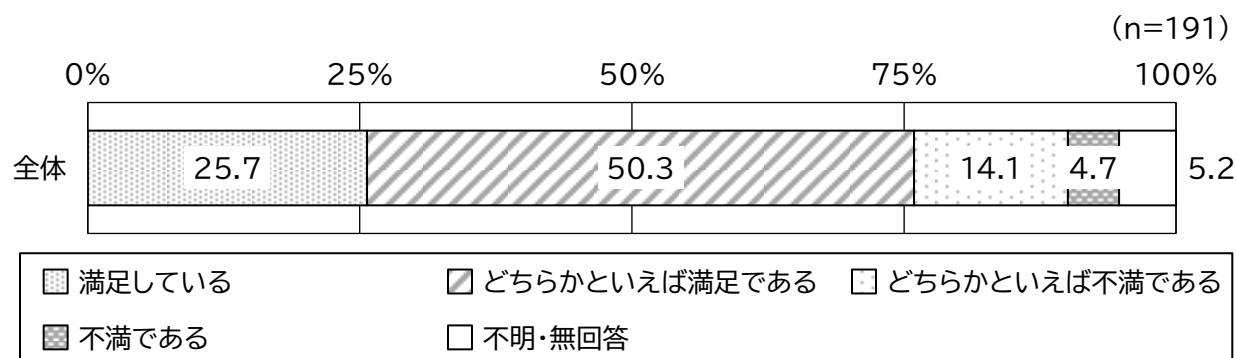
性別にみると、男性より女性の方が「家族ができないから」の割合が高く、女性より男性の方が「家族との話し合い」の割合が高くなっています。

		(n)	自分 一人で できる (した い)	自分 で 思 っ て い る の が 当 然 だ	自 分 で で き な い (や り た く な い)	家 族 と の 話 し 合 い	家 族 が 望 ん だ か ら	家 族 が や ら な い か ら	家 族 が で き な い か ら (仕 事 や 病 気 、 時 間 が な い な ど)	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体		191	12.6	14.1	6.8	30.9	2.6	6.3	11.5	14.1	1.0
性別	女性	105	15.2	14.3	1.9	25.7	1.9	8.6	18.1	13.3	1.0
	男性	83	9.6	14.5	12.0	37.3	3.6	3.6	2.4	15.7	1.2
	答えたくない、分からない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問3-6 あなたは家庭内での育児・介護の役割分担を全体的に見て、現状に満足していますか？ あてはまる番号1つに○をつけてください。

※①育児（孫を含む）、②介護ともに「対象者がいない」を選んだ人は回答不要です

全体では「どちらかといえば満足である」が50.3%で最も高く、次いで「満足している」が25.7%となっています。



性別にみると、男性より女性の方が「どちらかといえば不満である」「不満である」の割合が高く、女性より男性の方が「満足である」「どちらかといえば満足である」の割合が高くなっています。

		(n)	満 足 し て い る	ど ち ら か と い え ば 満 足 で あ る	ど ち ら か と い え ば 不 満 で あ る	不 満 で あ る	不 明 ・ 無 回 答
全体		191	25.7	50.3	14.1	4.7	5.2
性別	女性	105	19.0	45.7	20.0	8.6	6.7
	男性	83	32.5	57.8	6.0	0.0	3.6
	答えたくない、分からない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

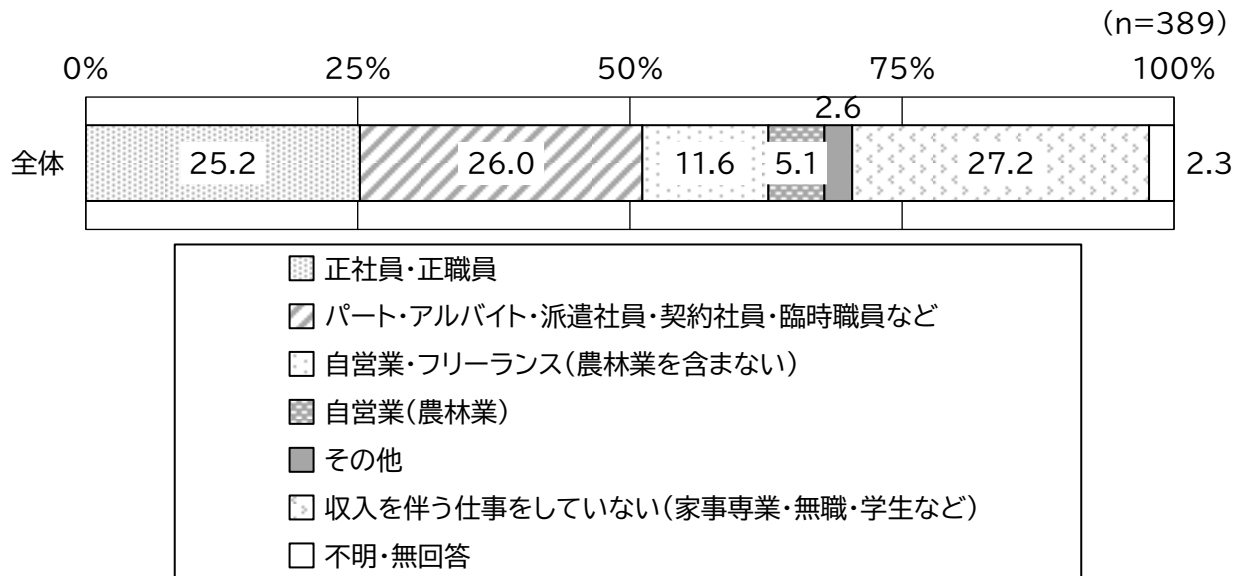
性別・年齢別にみると、女性の50～59歳で「不満である」「どちらかといえば不満である」の合計が4割を超え、比較的高くなっています。

		(n)	満足している	満足どちらかといえば	不満どちらかといえば	不満である	不明・無回答
女性	全体	103	19.4	46.6	19.4	8.7	5.8
	15～19歳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	7	28.6	42.9	14.3	14.3	0.0
	40～49歳	17	5.9	52.9	29.4	5.9	5.9
	50～59歳	31	22.6	32.3	25.8	16.1	3.2
	60～69歳	32	21.9	56.3	15.6	0.0	6.3
	70歳以上	11	18.2	45.5	9.1	9.1	18.2
男性	全体	83	32.5	57.8	6.0	0.0	3.6
	15～19歳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	4	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0
	30～39歳	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	40～49歳	13	30.8	61.5	7.7	0.0	0.0
	50～59歳	17	41.2	52.9	0.0	0.0	5.9
	60～69歳	41	34.1	56.1	4.9	0.0	4.9
	70歳以上	4	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0

3. 仕事や働き方についてお尋ねします

問4 あなたの今の職業は何ですか？あてはまる番号1つに○をつけてください（出産・介護などのため休業している方は働いていると考えてください）。

全体では「パート・アルバイト・派遣社員・契約社員・臨時職員など」が26.0%で最も高く、次いで「正社員・正職員」が25.2%となっています。



◇今の職業は何か「その他」の回答

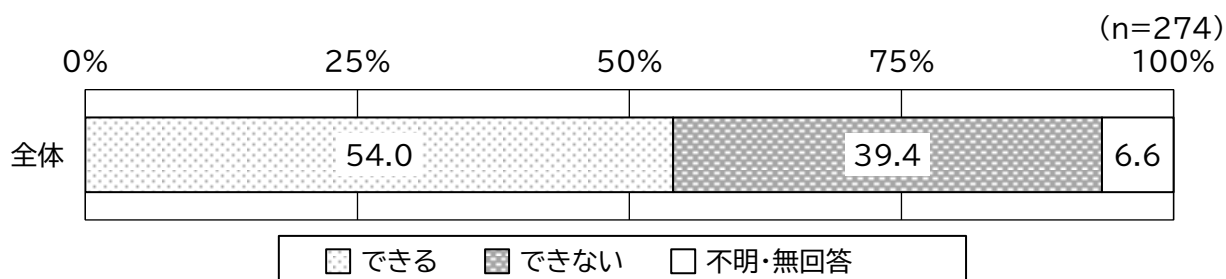
内 容	
障がい者のための職業訓練所等で就労 (3)	再雇用
年金生活	法人理事
自営業の夫の手伝い	アルバイトをしている

性別にみると、女性は「パート・アルバイト・派遣社員・契約社員・臨時職員など」が33.3%、男性で「正社員・正職員」36.3%でそれぞれ最も高くなっています。

		(n)	正社員・正職員	パート・契約社員・アルバイト・臨時職員・派遣社員	自営業・フリーランス（農林業を含まない）	自営業（農林業）	その他	収入を伴う仕事をしていない（家事専業・無職・学生など）	不明・無回答
全体		389	25.2	26.0	11.6	5.1	2.6	27.2	2.3
性別	女性	216	16.7	33.3	10.6	1.9	3.2	32.4	1.9
	男性	168	36.3	16.1	13.1	9.5	1.8	20.2	3.0
	答えたくない、分からない	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問5 あなたの職場では、育児や介護のための休業制度を気軽に取得できますか？あてはまる番号1つに○をつけてください。

全体では「できる」が54.0%に対し、「できない」が39.4%となっています。



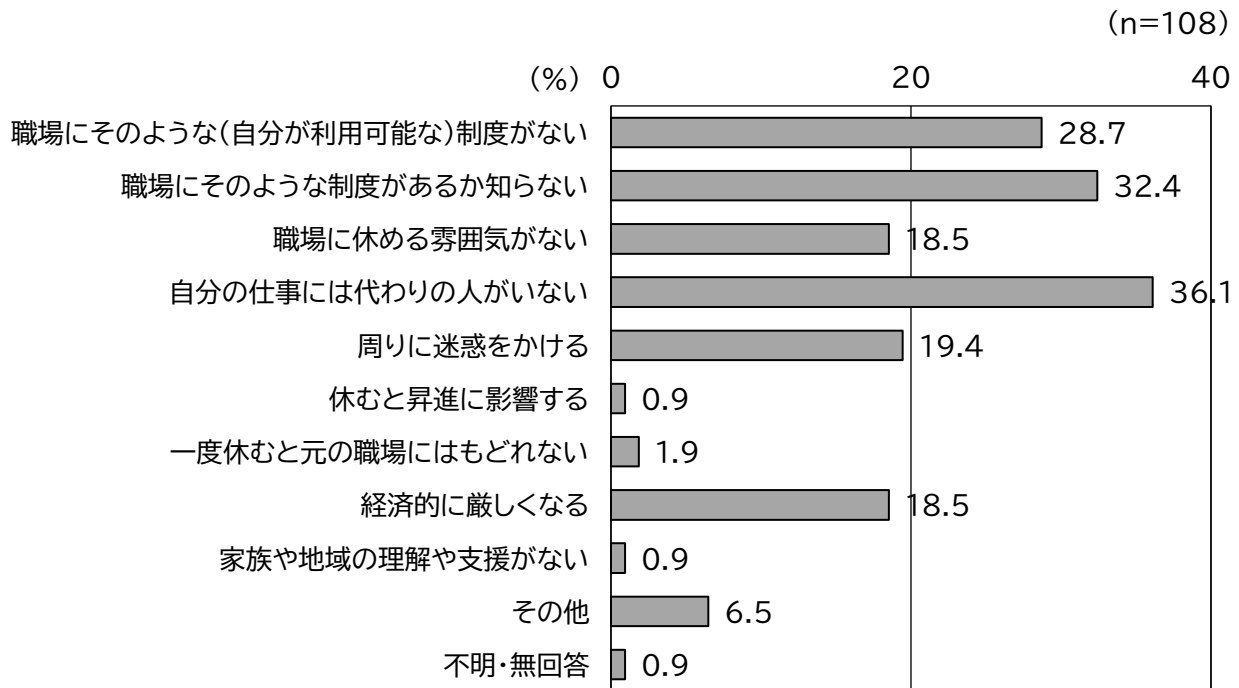
性別にみると、男性より女性の方が「できる」の割合がやや高くなっていますが、「男性」も半数以上が「できる」と回答しています。

		(n)	できる	できない	不明・無回答
全体		274	54.0	39.4	6.6
性別	女性	142	57.7	37.3	4.9
	男性	129	49.6	41.9	8.5
	答えたくない、分からない	1	0.0	100.0	0.0

〔問5で「2」と回答された方に質問します。〕

問6 その理由について、あなたの考えに近い番号すべてに○をつけてください。

全体では「自分の仕事には代わりの人がいない」が36.1%で最も高く、次いで「職場にそのような制度があるか知らない」が32.4%、「職場にそのような(自分が利用可能な)制度がない」が28.7%となっています。



◇育児や介護のための休業制度を気軽に取得できない理由「その他」の回答

内容	
フリーランスなので休むと収入がない(2)	自営だから、自営(農業)なので
職性が特殊な為、気軽に取得できない	手続きが簡素でない

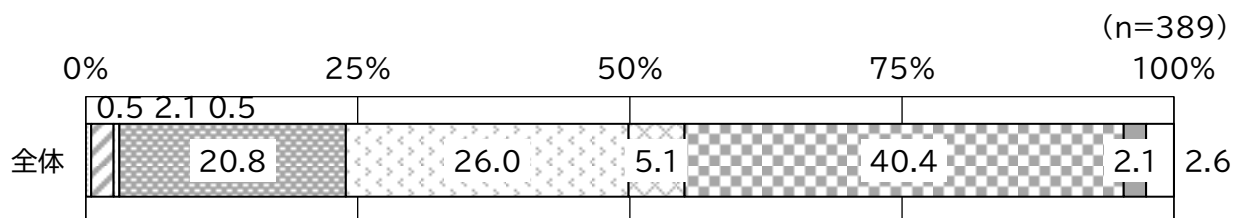
性別にみると、男性より女性の方が「職場にそのような制度があるか知らない」、「職場に休める雰囲気がない」の割合が高く、女性より男性の方が「自分の仕事には代わり的人がい」の割合が高くなっています。

	(n)	職場にそのような制度がない(自分が利用可能な)	あるか知らないような制度がある	職場に休める雰囲気がない	自分の仕事には代わり的人がい	周りに迷惑をかける	休むと昇進に影響する	一度休むと元の職場にはもどれない	経済的に厳しくなる	家族や地域の理解や支援がない	その他	不明・無回答
全体	108	28.7	32.4	18.5	36.1	19.4	0.9	1.9	18.5	0.9	6.5	0.9
性別												
女性	53	26.4	37.7	22.6	30.2	20.8	0.0	3.8	20.8	1.9	7.5	0.0
男性	54	31.5	25.9	14.8	42.6	18.5	1.9	0.0	16.7	0.0	5.6	1.9
答えたくない、分からない	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【全員にお尋ねします。】

問7 女性が働くことについて、あなたの考えに近い番号1つに○をつけてください。

「女性が思うとおりにするのがよい」が40.4%で最も高く、次いで「結婚しても、子どもができて（ずっと）職業はもち続ける方がよい」が26.0%、「子どもができたなら職業を一時やめて、子育ての負担がなくなってから職業をもつ方がよい」が20.8%となっています。



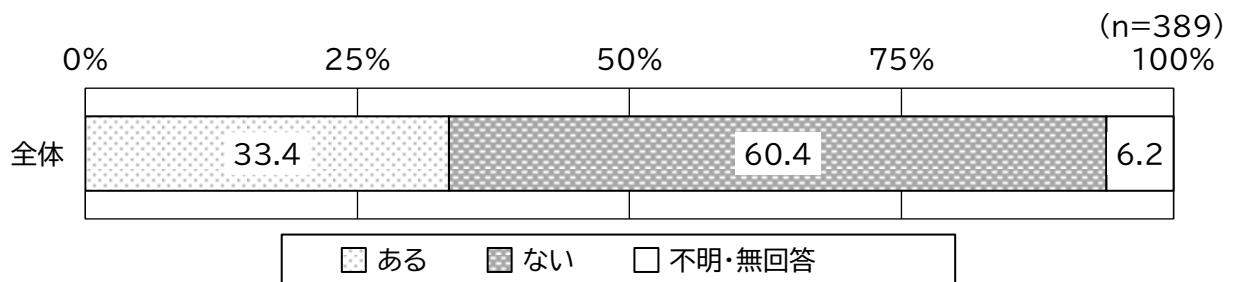
- 女性は職業をもたない方がよい
- 結婚するまでは職業をもち、結婚後はもたない方がよい
- 子どもができるまでは職業をもち、子どもができたなら職業をもたない方がよい
- 子どもができたなら職業を一時やめて、子育ての負担がなくなってから職業をもつ方がよい
- 結婚しても、子どもができて（ずっと）職業はもち続ける方がよい
- わからない
- 女性が思うとおりにするのがよい
- その他
- 不明・無回答

◇女性が働くことについて「その他」の回答

内 容	
家庭の事情により働いた方が良いと思う。	
その夫婦の状況に応じて、双方がある程度納得出来る方法を取るのが良いと思う。	
家事・育児を基本とし、意欲があれば短時間でも就労すればよい。	
自分の状況を考えて、家族が理解、協力をしてくださるのならいいと思います。	
できるならしたら良い。	仕事が好きならすれば良い。

問8-1 結婚・出産・育児・介護を機に仕事をやめた経験がありますか？
 あてはまる番号1つに○をつけてください。

全体では「ある」が33.4%に対し、「ない」が60.4%となっています。



性別にみると、女性は「ある」が56.9%に対し、男性は「ない」が88.1%となっています。

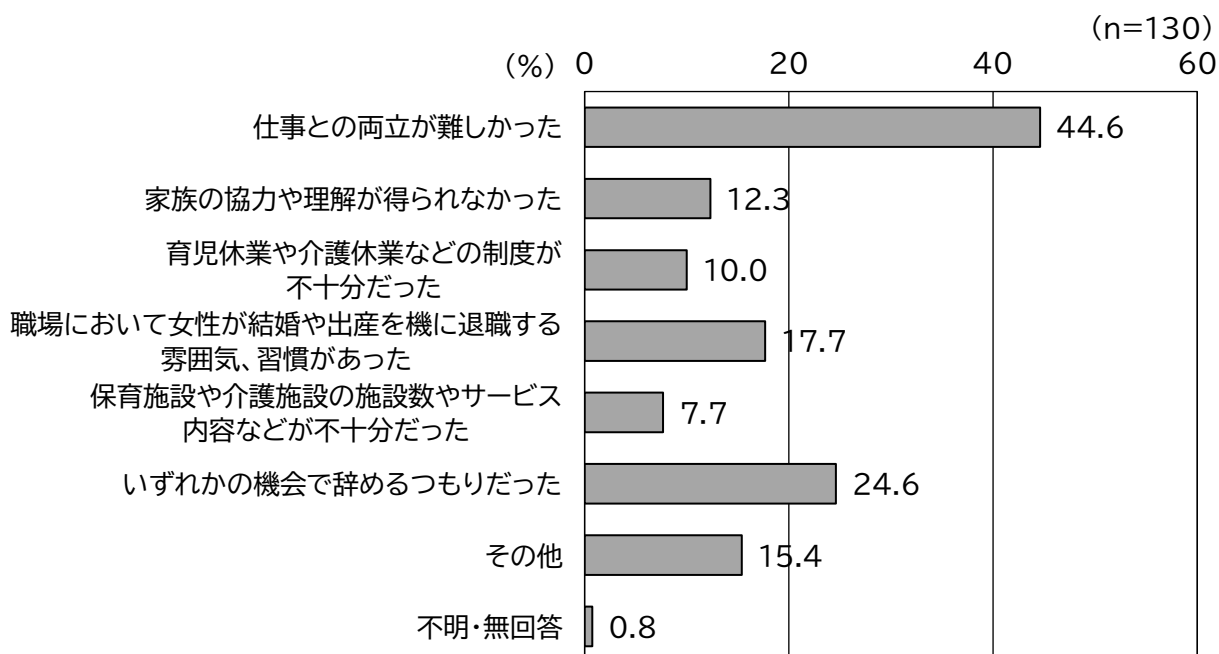
		(n)	ある	ない	不明・無回答
全体		389	33.4	60.4	6.2
性別	女性	216	56.9	39.4	3.7
	男性	168	2.4	88.1	9.5
	答えたくない、分からない	1	100.0	0.0	0.0

〔問8-1で「1」と回答された方に質問します。〕

問8-2 その原因は何ですか？

あなたの考えに近い番号すべてに○をつけてください。

「仕事との両立が難しかった」が44.6%で最も高く、次いで「いずれかの機会ですめるつもりだった」が24.6%となっています。



◇結婚・出産・育児・介護を機に仕事をやめた原因「その他」の回答

内容	
結婚を機会に引越（5）	妊娠後期で通勤できなくなったから
育児に専念したかったから（4）	つわりが重く働けなくなった
両立したくなかった。	職場に残りづらかった
勤務時間がリズムに合わなかったため	親の介護は子供（私と妹）ですると決めていた。
自営業だから電話を聞くだけの事しか出来なかった	

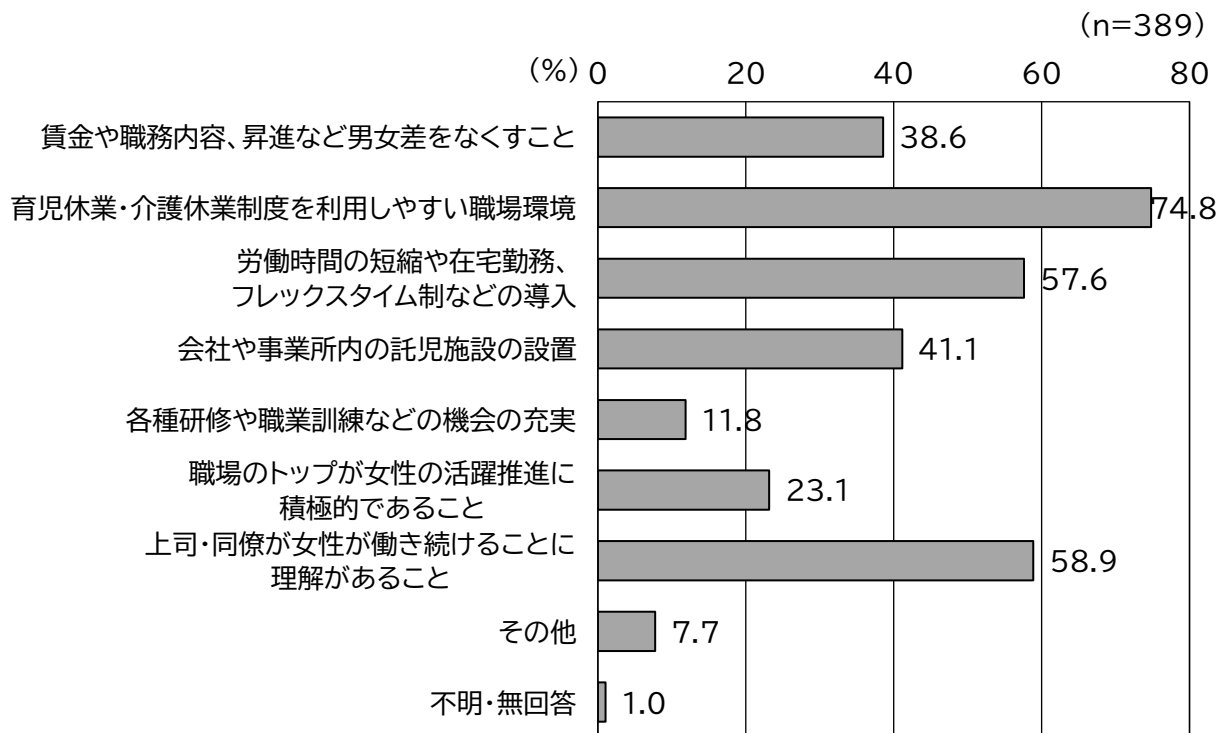
性別・年齢別にみると、女性の40～49歳を除く20歳以上の女性で「仕事との両立が難しかった」が最も高くなっています。また、女性の60～69歳では「いずれかの機会ですめるつもりだった」が3割を超えて比較的高くなっています。

		(n)	仕事との両立が難しかった	家族の協力や理解が得られなかった	育児休業や介護休業などの制度が不十分だった	出産を機に退職する雰囲気や習慣があった	職場において女性が結婚や十分なサービス内容などが不十分だった	保育施設や介護施設の施設数やサービス内容などが不十分だった	いずれかの機会ですめるつもりだった	その他	不明・無回答
女性	全体	123	43.9	13.0	10.6	17.1	8.1	25.2	16.3	0.8	
	15～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	20～29歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	30～39歳	6	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7	16.7	
	40～49歳	17	35.3	5.9	17.6	5.9	5.9	23.5	41.2	0.0	
	50～59歳	35	45.7	14.3	11.4	17.1	11.4	20.0	11.4	0.0	
	60～69歳	52	46.2	11.5	7.7	23.1	9.6	34.6	9.6	0.0	
	70歳以上	11	45.5	18.2	9.1	9.1	0.0	9.1	27.3	0.0	
男性	全体	4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	15～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	20～29歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	30～39歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	40～49歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	50～59歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	60～69歳	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	70歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

〔全員にお尋ねします。〕

問8-3 結婚・子育て・介護などを理由に仕事を離れることなく女性が働き続けていく職場にするには何が必要と考えますか。
その理由について、あなたの考えに近い番号すべてに○をつけてください。

全体では「育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場環境」が74.8%で最も高く、次いで「上司・同僚が女性が働き続けることに理解があること」が58.9%、「労働時間の短縮や在宅勤務、フレックスタイム制などの導入」が57.6%となっています。



◇女性が働き続けていく職場にするには何が必要か「その他」の回答

内容
国や大阪府のバックアップ (2)
職場によってはむずかしい所も多くあるので政治家がしっかりして欲しい。
男性の育児・家事・介護の参加と、それを実現しサポートする利用しやすい制度補充及び文化の醸成
いざという時の“かけ込み寺“みたいな公的施設があればよいです。〈補足：いかなる権力に対しても屈しない絶対権力のある機関施設である事〉
生活環境の異なる女性の理解 役割の違う男性の理解 性別を超えて一人ひとりの事情に対する、全員の想像力と共感 それらを支える制度や文化といった「仕組み」の改革
働き続けなくてよい、育児終了後再就職しやすい環境づくり
会社が古い働き方の考えを直さないと変わらない。
相談する(しやすい)部署があること
余力ある人員で回していること
会社に保育施設を設けるようになれば良いと思う。
町の保育所などにおいて病児保育徹底 (2)
賃金ではなく体の違いを理解し労働しやすい環境託児施設の充実

実家に住む。
家族の理解と協力が必要 (2)
当人の自覚 (野心) が必要
トップが女性でも良い。
この問題は女性だけじゃないですよ、男性も同じ問題を抱えています。
家庭の状況によって変わるので一概に言えない。

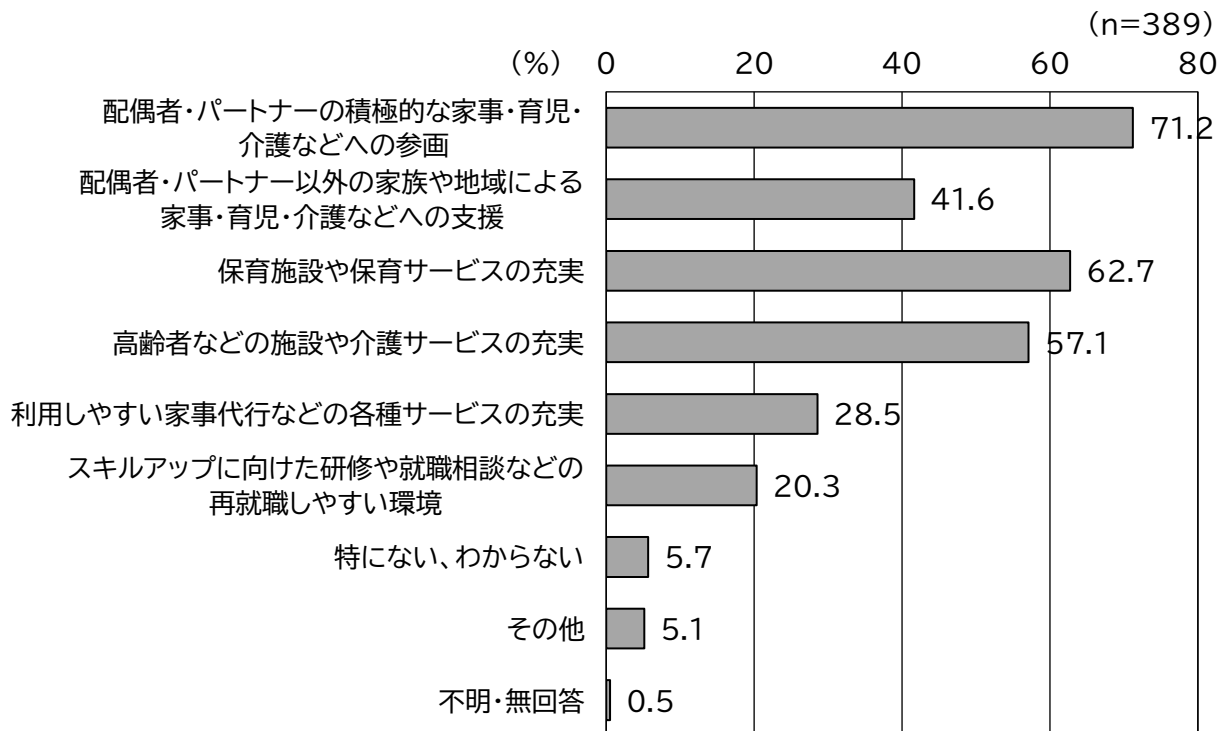
性別にみると、女性と男性ともに「育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場環境」の割合が高くなっています。

	(n)	ど賃 男金 女や 差職 務内 容を なく す、 昇進 な	を育 児休 用し 業や ・介 護休 業制 度環 境度	な務 の働 導フ 入レ 間の 導の 導短 縮 ス タ イ 在 ム 宅 制 勤	設の 社や 業 所 内 の 託 児 施 施	の各 種 機 会 の 充 実 や 職 業 訓 練 な ど	と躍 推場 進の にト 積ッ 極プ 的が で女 性 の こ活	こ続 とけ る司 ・同 僚 に が 理 解 が あ る き	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体	389	38.6	74.8	57.6	41.1	11.8	23.1	58.9	7.7	1.0
性別	女性	216	36.6	76.9	63.0	41.7	12.0	22.2	60.2	1.9
	男性	168	41.1	72.6	51.2	40.5	11.9	23.8	57.7	0.0
	答えたくない、分からない	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問8-4 女性活躍を進めるために、家族や会社などからどのような支援が必要と考えますか？

その理由について、あなたの考えに近い番号すべてに○をつけてください。

全体では「配偶者・パートナーの積極的な家事・育児・介護などへの参画」が71.2%で最も高く、次いで「保育施設や保育サービスの充実」が62.7%、「高齢者などの施設や介護サービスの充実」が57.1%となっています。



◇女性活躍を進めるために、家族や会社などからどのような支援が必要か「その他」の回答

内容
国、府の財政支援、負担
子ども手当の増額もしくは減税、家族や会社よりも国の問題
女性・男性にかかわらず、家庭や社会に貢献しようと頑張っている全ての人が、支援や権利を享受し、それにより過度な不公平感を作らないように企業や行政は取り組むべき。
保育施設、高齢者施設、介護サービスの低価格。サービスが充実していても価格が高いと利用しにくい。
家事、育児、介護は女性の仕事という意識を変えるため講座など開く。
会社内の制度の充実
働く会社の理解ある風土 (2)
女性、男性と、とわず、自立した人間を育てる必要がある。
女性活躍ではなく男性活躍について考えてみては…
女性活躍は必要重要である
質問が女性の活躍というのに疑問がある。
経済的支え
育児・家事を活躍と感じていない環境が問題
家庭状況によりすべて必要になると思う。
自営業だから私は殆ど家のるす番でした。

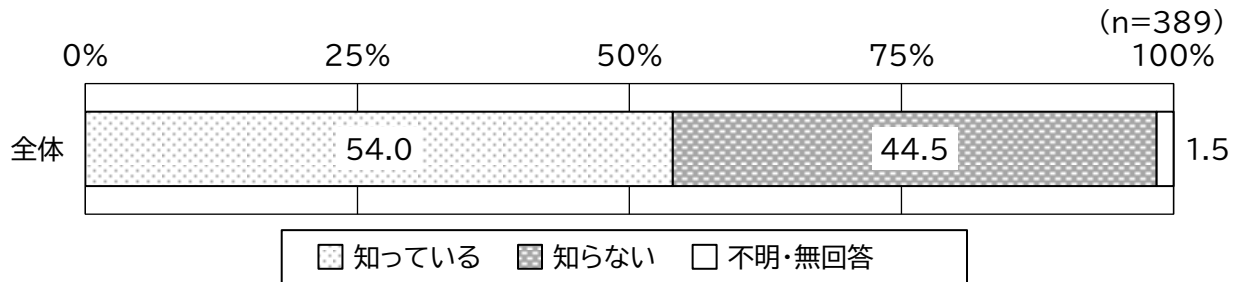
性別にみると、女性は「配偶者・パートナーの積極的な家事・育児・介護などへの参画」が79.6%、男性で「保育施設や保育サービスの充実」が65.5%で最も高くなっています。

	(n)	参画 な配 画家 事 ・ 育 児 ・ 介 護 な ど へ の 積 極 的	配 偶 者 ・ パ ー ト ナ ー の 積 極 的	配 偶 者 ・ パ ー ト ナ ー 以 外 の 家 事 ・ 育 児 ・ 介 護 な ど へ の 支 援	配 偶 者 ・ パ ー ト ナ ー 以 外 の 家 事 ・ 育 児 ・ 介 護 な ど へ の 支 援	実 保 育 施 設 や 保 育 サ ー ビ ス の 充 実	高 齢 者 な ど の 施 設 や 介 護 サ ー ビ ス の 充 実	各 種 サ ー ビ ス の 充 実	利 用 し や す い 家 事 代 行 な ど の 充 実	就 職 相 談 な ど の 再 就 職 し 研 修 や 研 究 等 の 充 実	ス キ ル ア ッ プ の 充 実	特 に な い 、 わ か ら な い	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体	389	71.2	41.6	62.7	57.1	28.5	20.3	5.7	5.1	0.5				
性別	女性	216	79.6	45.4	61.1	57.4	27.8	21.3	6.0	6.9	0.5			
	男性	168	60.1	37.5	65.5	57.7	30.4	18.5	5.4	3.0	0.6			
	答えたくない、分からない	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

4. 男女間の暴力（DV）についてお尋ねします

問9 DVについて、相談できる窓口があることを知っていますか？
あてはまる番号1つに○をつけてください。

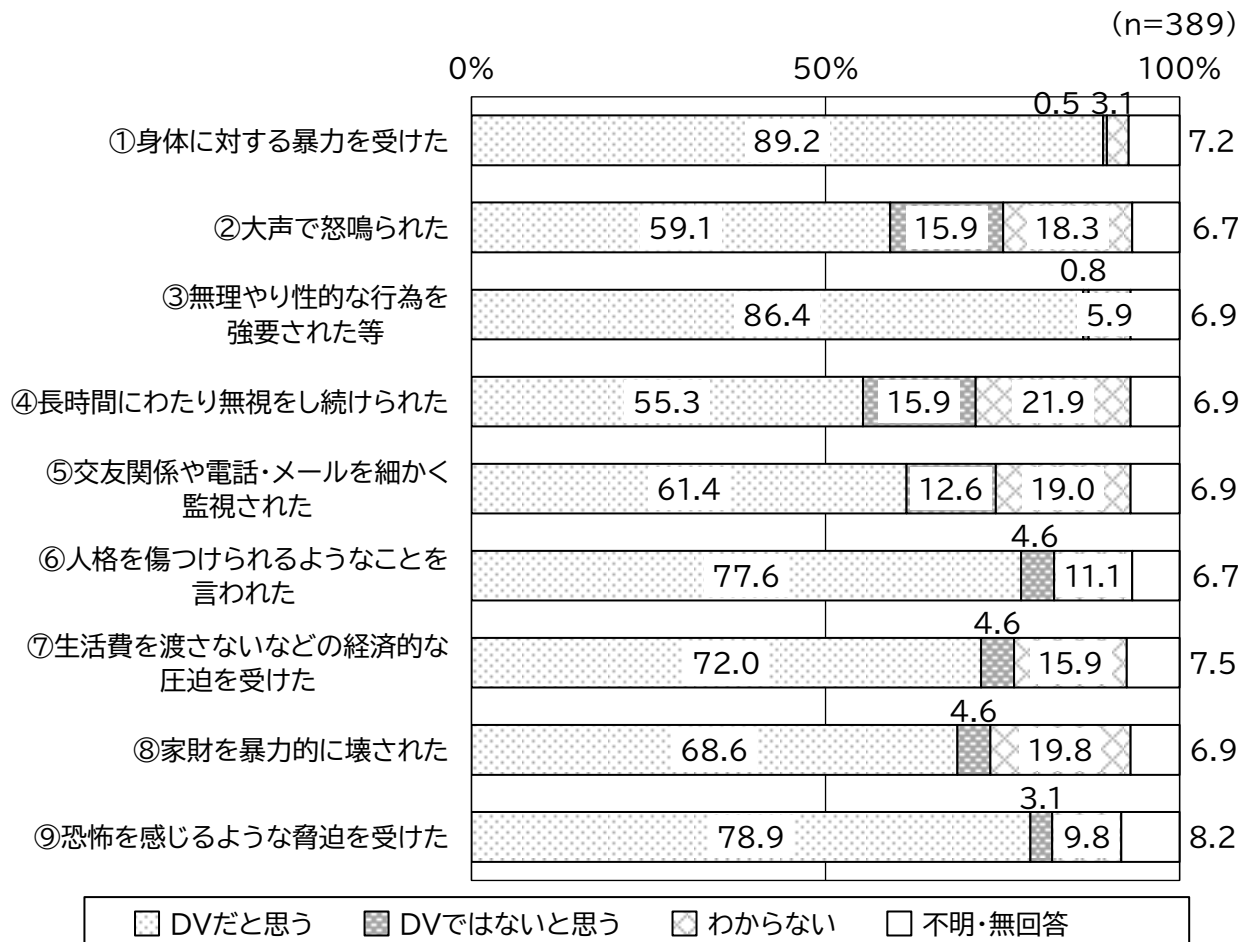
「知っている」が54.0%に対し、「知らない」が44.5%となっています。



問10 あなたは①～⑨の行為が行われた場合、どう思われますか？ また、あなたはこれまでに、パートナー（配偶者・恋人など）から①～⑨のようなことをされたことがありますか？ それぞれ1～3の中から、あてはまる番号1つを選んでください（○をつけてください）。

【DVの判断】

「①身体に対する暴力を受けた」「③無理やり性的な行為を強要された等」で「DVだと思う」が8割を超えて高くなっています。



【DVの判断】について、「わからない」の割合が比較的高かった項目について、性別・年齢別にみると、以下の通りとなっています。

【クロス集計】問10：DVの判断 ②大声で怒鳴られた

		(n)	D V だ と 思 う	な D V と 思 は う	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
女性	全体	216	64.4	13.0	15.3	7.4
	15～19歳	6	50.0	16.7	16.7	16.7
	20～29歳	7	85.7	14.3	0.0	0.0
	30～39歳	16	62.5	0.0	31.3	6.3
	40～49歳	26	61.5	19.2	15.4	3.8
	50～59歳	56	66.1	12.5	16.1	5.4
	60～69歳	83	68.7	14.5	9.6	7.2
	70歳以上	21	42.9	9.5	28.6	19.0
男性	全体	168	51.8	19.6	22.6	6.0
	15～19歳	2	50.0	0.0	50.0	0.0
	20～29歳	10	50.0	20.0	30.0	0.0
	30～39歳	6	16.7	16.7	66.7	0.0
	40～49歳	20	55.0	15.0	20.0	10.0
	50～59歳	36	52.8	22.2	22.2	2.8
	60～69歳	77	55.8	23.4	18.2	2.6
	70歳以上	16	37.5	6.3	25.0	31.3

【クロス集計】問10：DVの判断 ④長時間にわたり無視をし続けられた

		(n)	D V だ と 思 う	な D V と 思 は う	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
女性	全体	216	56.9	13.9	20.8	8.3
	15～19歳	6	33.3	16.7	33.3	16.7
	20～29歳	7	85.7	14.3	0.0	0.0
	30～39歳	16	50.0	12.5	31.3	6.3
	40～49歳	26	53.8	19.2	23.1	3.8
	50～59歳	56	62.5	14.3	14.3	8.9
	60～69歳	83	54.2	12.0	26.5	7.2
	70歳以上	21	61.9	9.5	9.5	19.0
男性	全体	168	53.0	18.5	23.2	5.4
	15～19歳	2	0.0	100.0	0.0	0.0
	20～29歳	10	60.0	10.0	30.0	0.0
	30～39歳	6	50.0	33.3	16.7	0.0
	40～49歳	20	60.0	10.0	20.0	10.0
	50～59歳	36	61.1	8.3	30.6	0.0
	60～69歳	77	50.6	26.0	20.8	2.6
	70歳以上	16	37.5	6.3	25.0	31.3

【クロス集計】 問 10：DVの判断 ⑤交友関係や電話・メールを細かく監視された

		(n)	D V だ と 思 う	な い D V と 思 は う	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
女性	全体	216	65.7	11.1	14.8	8.3
	15～19歳	6	66.7	0.0	16.7	16.7
	20～29歳	7	85.7	14.3	0.0	0.0
	30～39歳	16	62.5	12.5	18.8	6.3
	40～49歳	26	61.5	7.7	26.9	3.8
	50～59歳	56	69.6	12.5	8.9	8.9
	60～69歳	83	63.9	10.8	18.1	7.2
	70歳以上	21	66.7	9.5	4.8	19.0
男性	全体	168	56.0	14.3	24.4	5.4
	15～19歳	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	10	80.0	10.0	10.0	0.0
	30～39歳	6	33.3	0.0	66.7	0.0
	40～49歳	20	70.0	10.0	10.0	10.0
	50～59歳	36	52.8	16.7	30.6	0.0
	60～69歳	77	55.8	16.9	24.7	2.6
	70歳以上	16	31.3	12.5	25.0	31.3

【クロス集計】 問 10：DVの判断 ⑦生活費を渡さないなどの経済的な圧迫を受けた

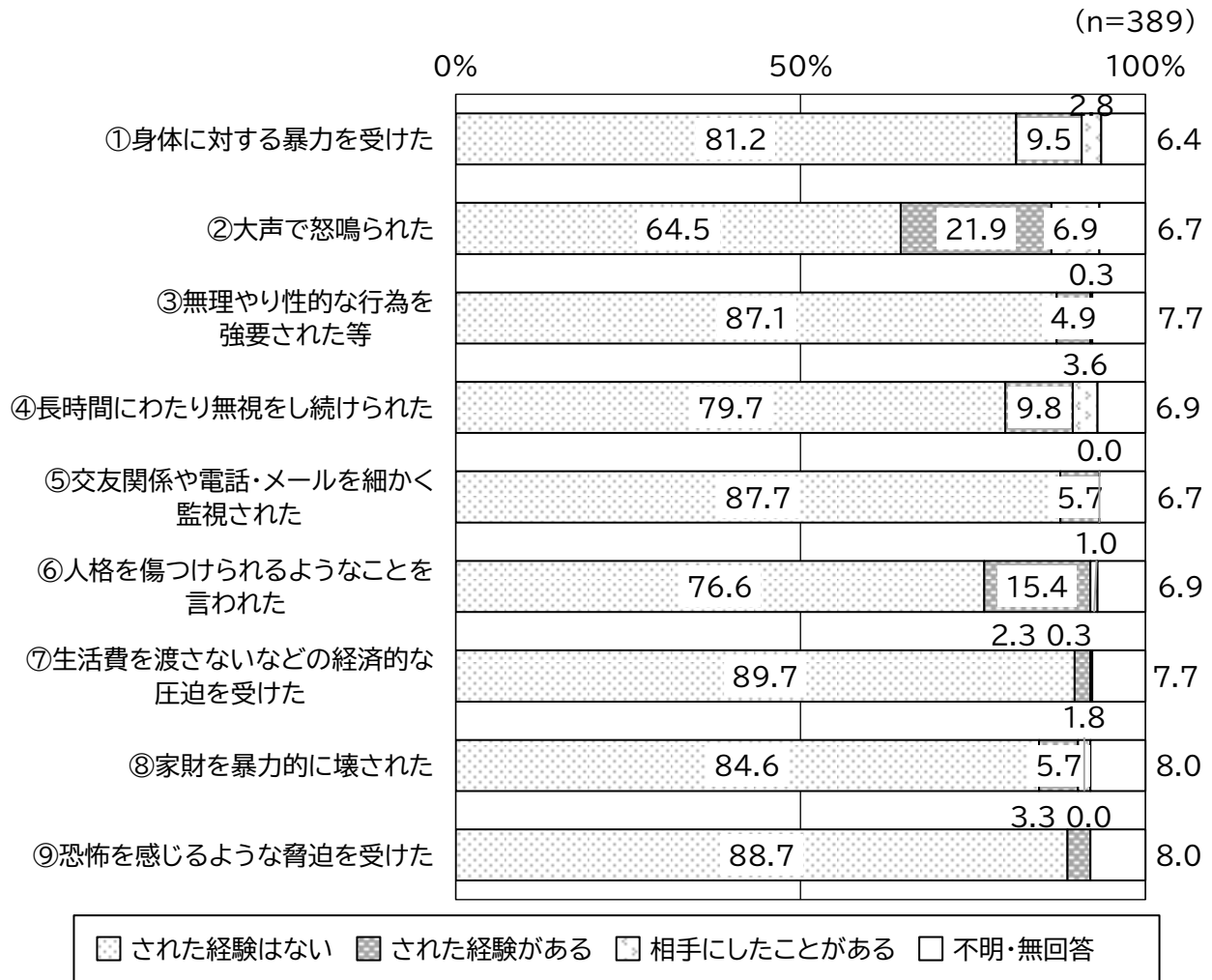
		(n)	D V だ と 思 う	な い D V と 思 は う	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
女性	全体	216	72.7	5.1	13.9	8.3
	15～19歳	6	83.3	0.0	0.0	16.7
	20～29歳	7	85.7	14.3	0.0	0.0
	30～39歳	16	75.0	0.0	12.5	12.5
	40～49歳	26	88.5	0.0	7.7	3.8
	50～59歳	56	71.4	8.9	10.7	8.9
	60～69歳	83	69.9	4.8	18.1	7.2
	70歳以上	21	61.9	0.0	23.8	14.3
男性	全体	168	70.8	4.2	18.5	6.5
	15～19歳	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	10	90.0	0.0	10.0	0.0
	30～39歳	6	50.0	0.0	33.3	16.7
	40～49歳	20	75.0	5.0	10.0	10.0
	50～59歳	36	75.0	2.8	22.2	0.0
	60～69歳	77	71.4	5.2	19.5	3.9
	70歳以上	16	43.8	6.3	18.8	31.3

【クロス集計】 問 10：DVの判断 ⑧家財を暴力的に壊された

		(n)	D V だ と 思 う	な い D V で は 思 う	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
女性	全体	216	66.2	4.2	21.3	8.3
	15～19歳	6	66.7	0.0	16.7	16.7
	20～29歳	7	85.7	0.0	14.3	0.0
	30～39歳	16	68.8	0.0	25.0	6.3
	40～49歳	26	65.4	3.8	26.9	3.8
	50～59歳	56	71.4	7.1	12.5	8.9
	60～69歳	83	66.3	1.2	25.3	7.2
	70歳以上	21	47.6	9.5	23.8	19.0
男性	全体	168	71.4	5.4	17.9	5.4
	15～19歳	2	50.0	0.0	50.0	0.0
	20～29歳	10	100.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	6	83.3	0.0	16.7	0.0
	40～49歳	20	60.0	15.0	15.0	10.0
	50～59歳	36	72.2	2.8	25.0	0.0
	60～69歳	77	75.3	5.2	16.9	2.6
	70歳以上	16	43.8	6.3	18.8	31.3

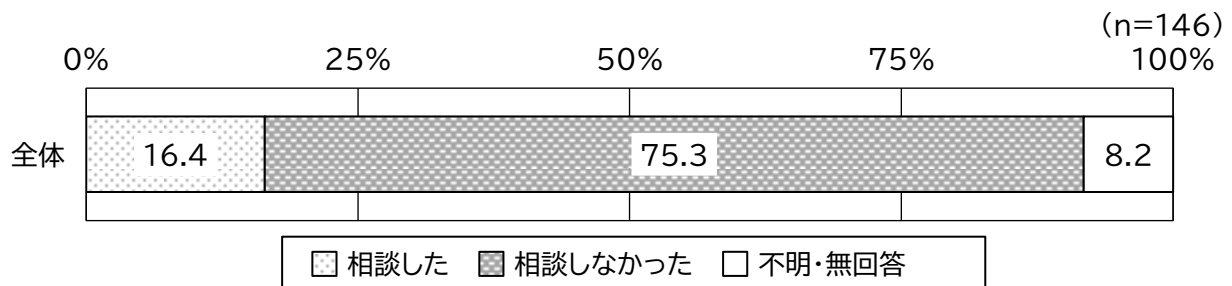
【DVの経験】

いずれの区分においても「された経験はない」の割合が最も高くなっていますが、「②大声で怒鳴られた」、「⑥人格を傷つけられるようなことを言われた」で、「された経験がある」が比較的高くなっています。



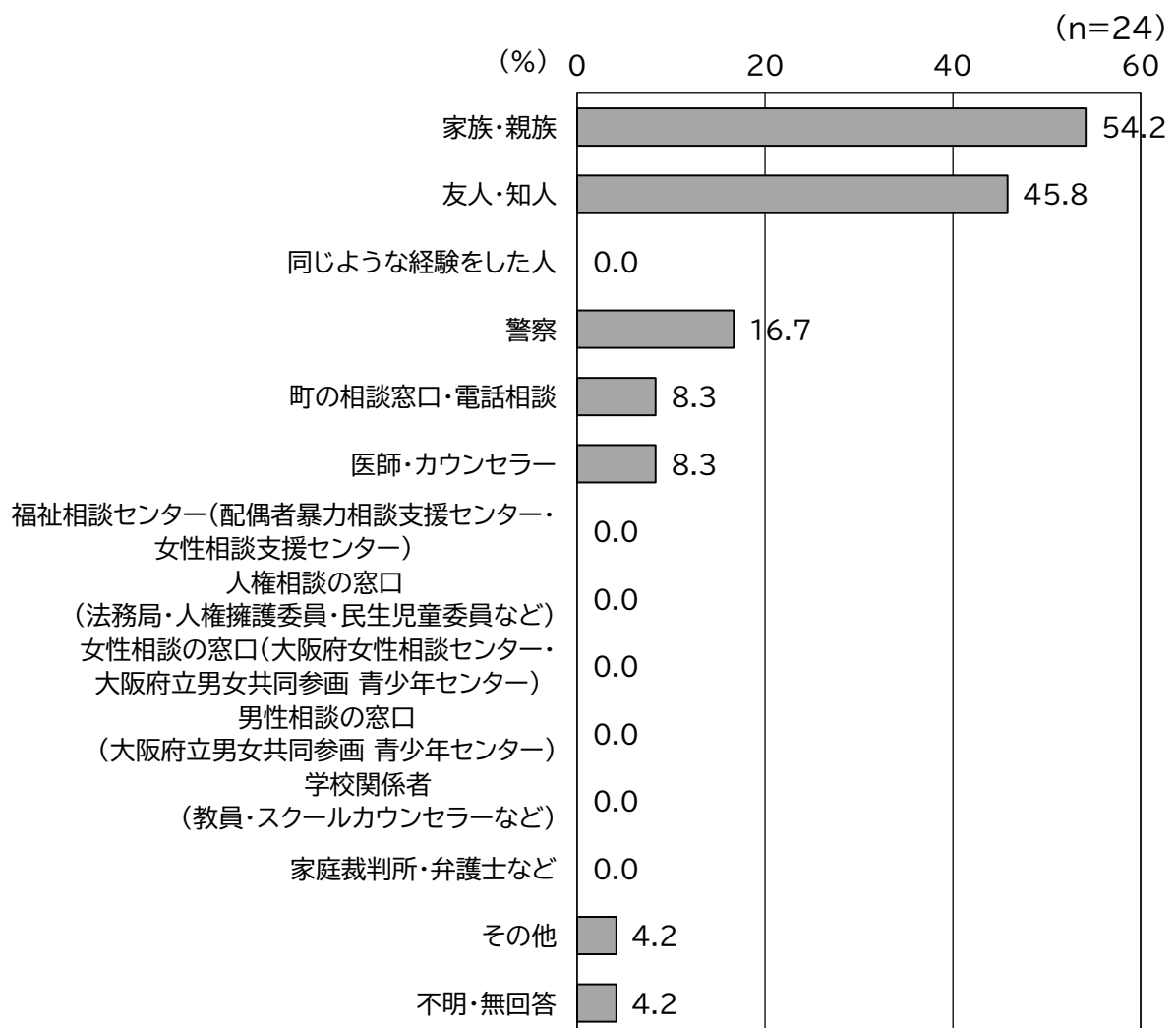
〔問10の「DVの経験」で1つでも「2」または「3」と回答された方に質問します。〕
問11 あなたは問10の「DVの経験」で①～⑨のような行為を受けたこと、またはしたことについて、誰かに相談しましたか？
 あてはまる番号1つに○をつけてください。

「相談した」が16.4%に対し、「相談しなかった」が75.3%となっています。



〔問11で「1」と回答された方に質問します。〕
問12 だれ(どこ)に相談しましたか？あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「家族・親族」が54.2%で最も高く、次いで「友人・知人」が45.8%となっています。



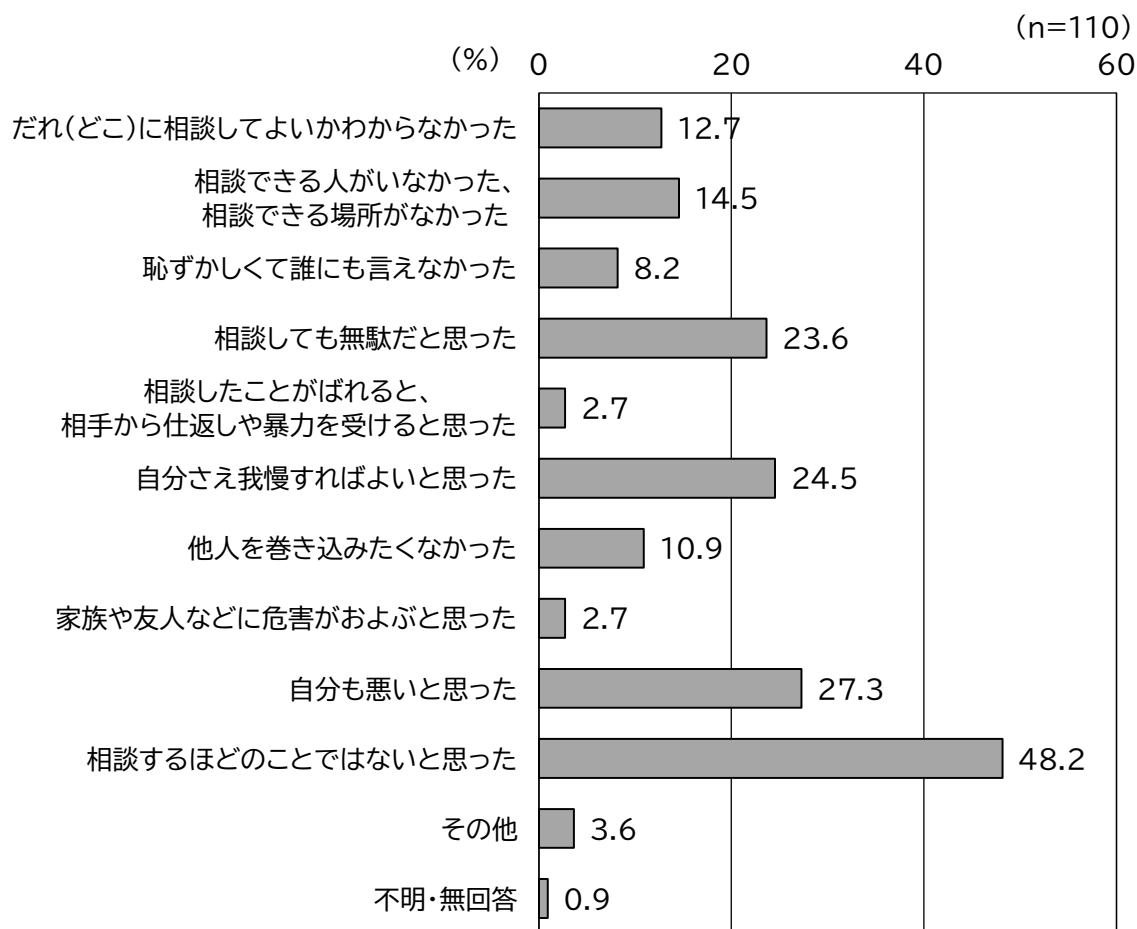
◇だれ(どこ)に相談したか「その他」の回答

内容	
上司	

〔問11で「2」と回答された方に質問します。〕

問13 だれ(どこ)にも相談しなかったのはなぜですか？
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

全体では「相談するほどのことではないと思った」が48.2%で最も高くなっています。



◇だれ(どこ)にも相談しなかった理由「その他」の回答

内容	
双方のけんかのため、相談のレベルではない。	相談することだと考えなかった、がまんした。
相手の言い分も理解するところがあったから	DVをした事もされた事もない。
衝動的にしてしまったので、考える余地がなかった。	

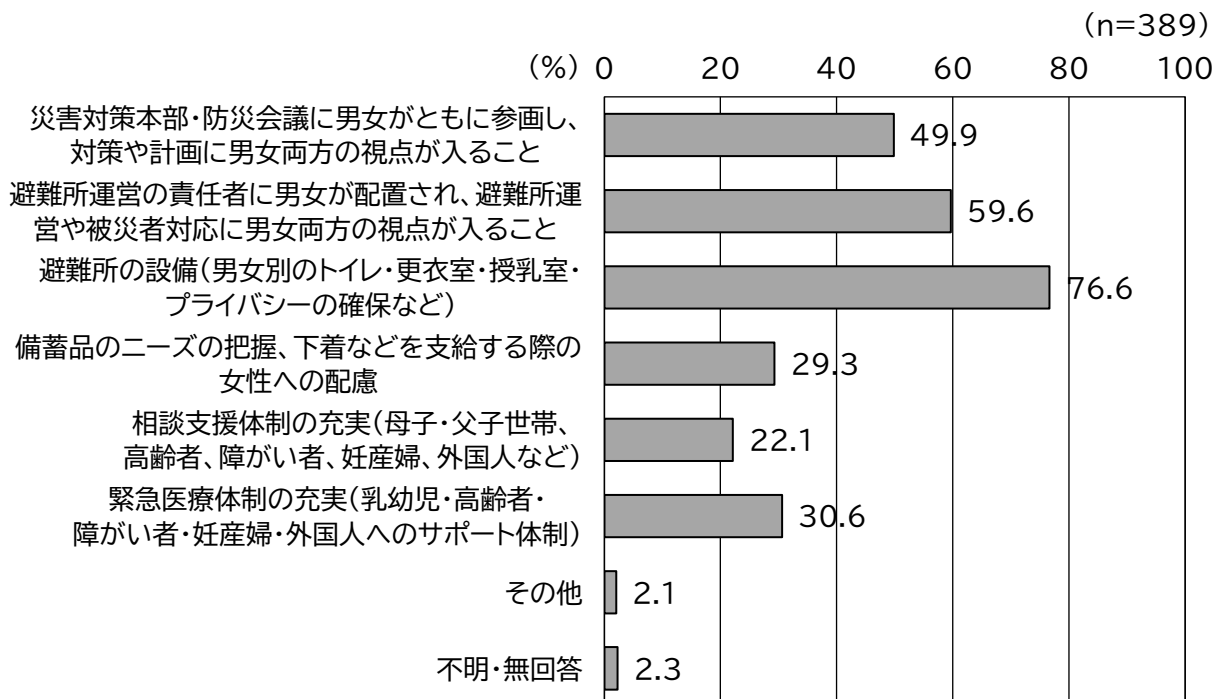
性別にみると、男性より女性の方が「自分さえ我慢すればよいと思った」の割合が高く、女性より男性の方が「自分も悪いと思った」の割合がやや高くなっています。

	(n)	だれ（どこ）に相談してよいかわからなかった	相談できる場所がなかった、相談できなかった	恥ずかしくて誰にも言えなかった	相談しても無駄だと思った	手から仕返しや暴力を受けると思った	相談したことがばれると、自分さえ我慢すればよいと思っ	他人を巻き込みたくなかった	家族や友人などに危害がおよぶと思っ	自分も悪いと思っ	相談するほどのことではないと思っ	その他	不明・無回答	
全体	110	12.7	14.5	8.2	23.6	2.7	24.5	10.9	2.7	27.3	48.2	3.6	0.9	
性別	女性	59	11.9	16.9	8.5	27.1	5.1	30.5	10.2	5.1	23.7	50.8	5.1	1.7
	男性	50	12.0	10.0	8.0	18.0	0.0	16.0	12.0	0.0	32.0	44.0	2.0	0.0
	答えたくない、分からない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

5. 様々な活動と男女共同参画との関わりについてお尋ねします

問14 災害時において性別による配慮や被災者のニーズに十分に応えるために必要なことは何だと思えますか？あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

「避難所の設備（男女別のトイレ・更衣室・授乳室・プライバシーの確保など）」が76.6%で最も高く、次いで「避難所運営の責任者に男女が配置され、避難所運営や被災者対応に男女両方の視点が入ること」が59.6%となっています。また、その他の記述回答では、「すべて必要」という意見がみられ、災害時における性別への配慮や被災者ニーズへの対応については、いずれも重要な取組として総合的に対応していくことが求められています。

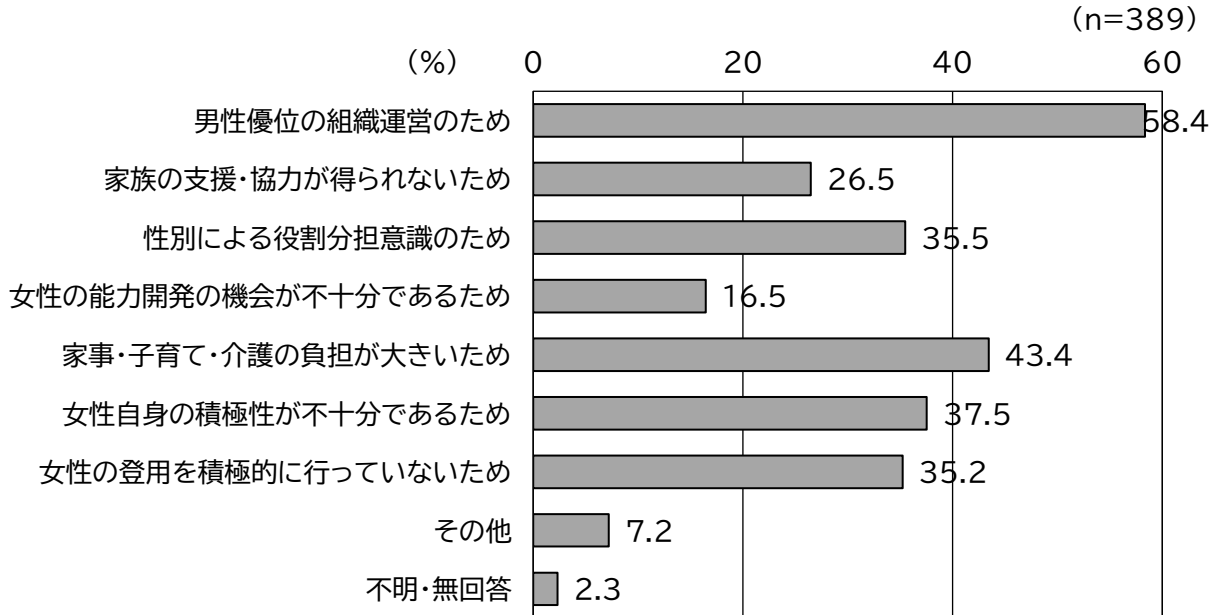


◇災害時において性別による配慮や被災者のニーズに十分に応えるために必要こと「その他」の回答

内容
3つまで○ではなくニーズはすべて必要ではと思う。
この問いに対して全て必要だと思う。
上記の全てが必要であり、どれか1つでも見ないふりをするのは行政としての責任放棄である。
平等をうたうなら全てにおいて平等であれ。

問15 議会の議員や審議会の委員、行政の政策決定の場、自治会や町内会などの企画や方針を決める場に女性の参画が少ない理由は何だと思えますか？あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「男性優位の組織運営のため」が58.4%で最も高く、次いで「家事・子育て・介護の負担が大きいため」が43.4%となっています。



◇政策決定の場、地域の企画や方針を決める場に女性の参画が少ない理由「その他」の回答

内容
地域性や風土の問題。(5)
女性を理由に役職を受けないケースは散見される。
女性という事を理由に自治会役員など断られる。
自然増は歓迎するが、あえて女性の参画を促す必要はない。
やりたくない女性が多い。
女性の能力を拡大する。特に理解
できる女性は多忙なことが多いが、そのような多角的な視点を持った女性にこそ参画してほしい。
現在議員や委員をやるような方々の年齢の方は若い頃社会に出てなかった方が多いから。あと、感情や体調で考え方が変わるから。
家長が男性であることがほとんどであるため。
男尊女卑の世界なのでは？
男性が威圧的
自治会では女性の参画は多い。
人口が減っているのに男女どちらも人数を減らすべき。
それぞれに理由があると思われるため、同一問題としての回答は困難
本人による
面倒
少ないと初めて知った。

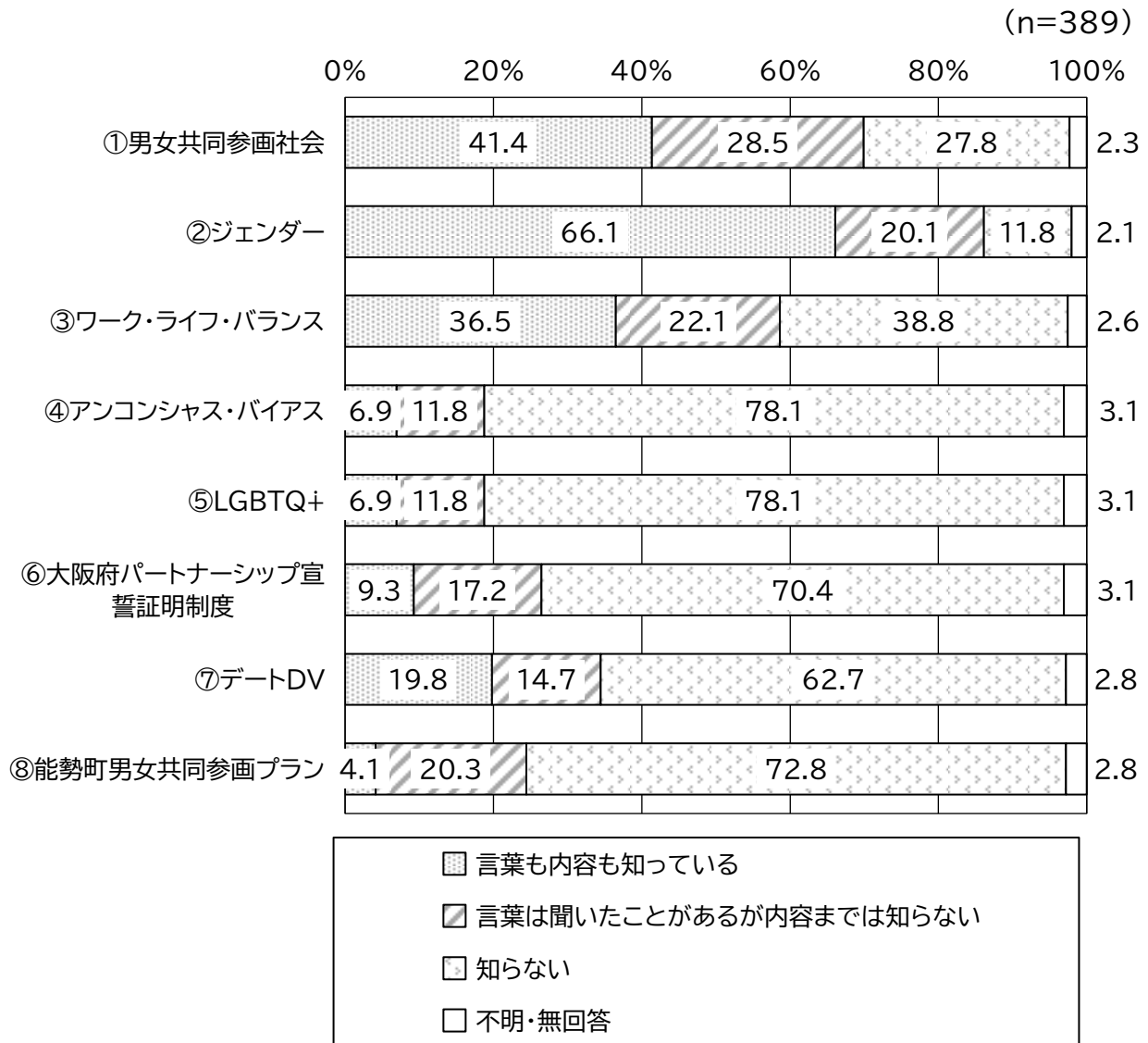
性別にみると、男性では「男性優位の組織運営のため」、女性では「性別による役割分担意識のため」などの割合が比較的高いなどの特徴がみられます。

		(n)	男性優位の組織運営のため	家族の支えられないため・協力が得られない	性別による役割分担意識のため	女性の能力開発の機会が不十分である	家事・子育て・介護の負担が大きい	女性自身での積極性	女性の登用を積極的に進めたい	その他	不明・無回答
全体		389	58.4	26.5	35.5	16.5	43.4	37.5	35.2	7.2	2.3
性別	女性	216	63.9	28.7	32.4	19.0	46.8	40.7	32.9	5.6	3.2
	男性	168	52.4	23.8	39.9	13.1	39.3	33.9	38.7	9.5	0.6
	答えたくない、分からない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

6. 男女共同参画に関する用語についてお尋ねします

問16 次にあげる用語や名称についてどの程度ご存じですか？それぞれ1～3の中から、あてはまる番号1つを選んでください（○をつけてください）。

全体では「②ジェンダー」で「言葉も内容も知っている」が66.1%で最も高くなっています。一方、「④アンコンシャス・バイアス」「⑤LGBTQ+」「⑥大阪府パートナーシップ宣誓証明制度」「⑦デートDV」「⑧能勢町男女共同参画プラン」で「知らない」の割合が6～7割程度と高くなっています。



【クロス集計】問16：用語や名称について知っているか ①男女共同参画社会

性別にみると、女性より男性の方が「言葉も内容も知っている」の割合が高くなっています。

		(n)	知言葉も 知っている 内容も	まと言 ではあは 知る聞 らがない ない容こ	知らない	不明・ 無回答
全体		389	41.4	28.5	27.8	2.3
性別	女性	216	35.6	31.9	30.1	2.3
	男性	168	50.0	25.0	24.4	0.6
	答えたくない、分からない	1	0.0	0.0	100.0	0.0

【クロス集計】問16：用語や名称について知っているか ②ジェンダー

性別にみると、女性と男性ともに「言葉も内容も知っている」の割合が高くなっています。

		(n)	知言葉も 知っている 内容も	まと言 ではあは 知る聞 らがない ない容こ	知らない	不明・ 無回答
全体		389	66.1	20.1	11.8	2.1
性別	女性	216	66.7	19.9	12.0	1.4
	男性	168	67.3	19.6	11.9	1.2
	答えたくない、分からない	1	0.0	100.0	0.0	0.0

【クロス集計】問16：用語や名称について知っているか ③ワーク・ライフ・バランス

性別にみると、女性は「知らない」が40.7%、男性で「言葉も内容も知っている」41.1%で高くなっています。

		(n)	知言葉も 知っている 内容も	まと言 ではあは 知る聞 らがない ない容こ	知らない	不明・ 無回答
全体		389	36.5	22.1	38.8	2.6
性別	女性	216	33.8	22.7	40.7	2.8
	男性	168	41.1	22.0	36.3	0.6
	答えたくない、分からない	1	0.0	0.0	100.0	0.0

【クロス集計】 問 16：用語や名称について知っているか ④アンコンシャス・バイアス
性別にみると、女性と男性ともに「知らない」の割合が高くなっています。

		(n)	知言 つ葉 ても い内 る容 も	まと言 でが葉 はあは 知る聞 らが ない内 容こ	知 ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		389	6.9	11.8	78.1	3.1
性別	女性	216	5.1	11.6	80.6	2.8
	男性	168	9.5	12.5	76.2	1.8
	答えたくない、分からない	1	0.0	0.0	100.0	0.0

【クロス集計】 問 16：用語や名称について知っているか ⑤LGBTQ+
性別にみると、女性と男性ともに「言葉も内容も知っている」の割合が高くなっています。

		(n)	知言 つ葉 ても い内 る容 も	まと言 でが葉 はあは 知る聞 らが ない内 容こ	知 ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		389	39.1	23.4	33.9	3.6
性別	女性	216	38.0	22.7	35.2	4.2
	男性	168	41.7	23.8	33.3	1.2
	答えたくない、分からない	1	0.0	100.0	0.0	0.0

【クロス集計】 問 16：用語や名称について知っているか ⑥大阪府パートナーシップ宣誓証明制度
性別にみると、女性より男性の方が「知らない」の割合がやや高くなっています。

		(n)	知言 つ葉 ても い内 る容 も	まと言 でが葉 はあは 知る聞 らが ない内 容こ	知 ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		389	9.3	17.2	70.4	3.1
性別	女性	216	10.2	18.1	68.1	3.7
	男性	168	8.3	16.1	75.0	0.6
	答えたくない、分からない	1	0.0	100.0	0.0	0.0

【クロス集計】問16：用語や名称について知っているか ⑦デートDV

性別にみると、女性より男性の方が「知らない」の割合がやや高くなっています。

		(n)	知言 つ葉 ても いる 内容 も	まと言 でが葉 はあは 知る聞 らが ない 内容 こ	知 ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		389	19.8	14.7	62.7	2.8
性別	女性	216	21.3	17.1	59.3	2.3
	男性	168	18.5	11.3	68.5	1.8
	答えたくない、分からない	1	0.0	0.0	100.0	0.0

【クロス集計】問16：用語や名称について知っているか ⑧能勢町男女共同参画プラン

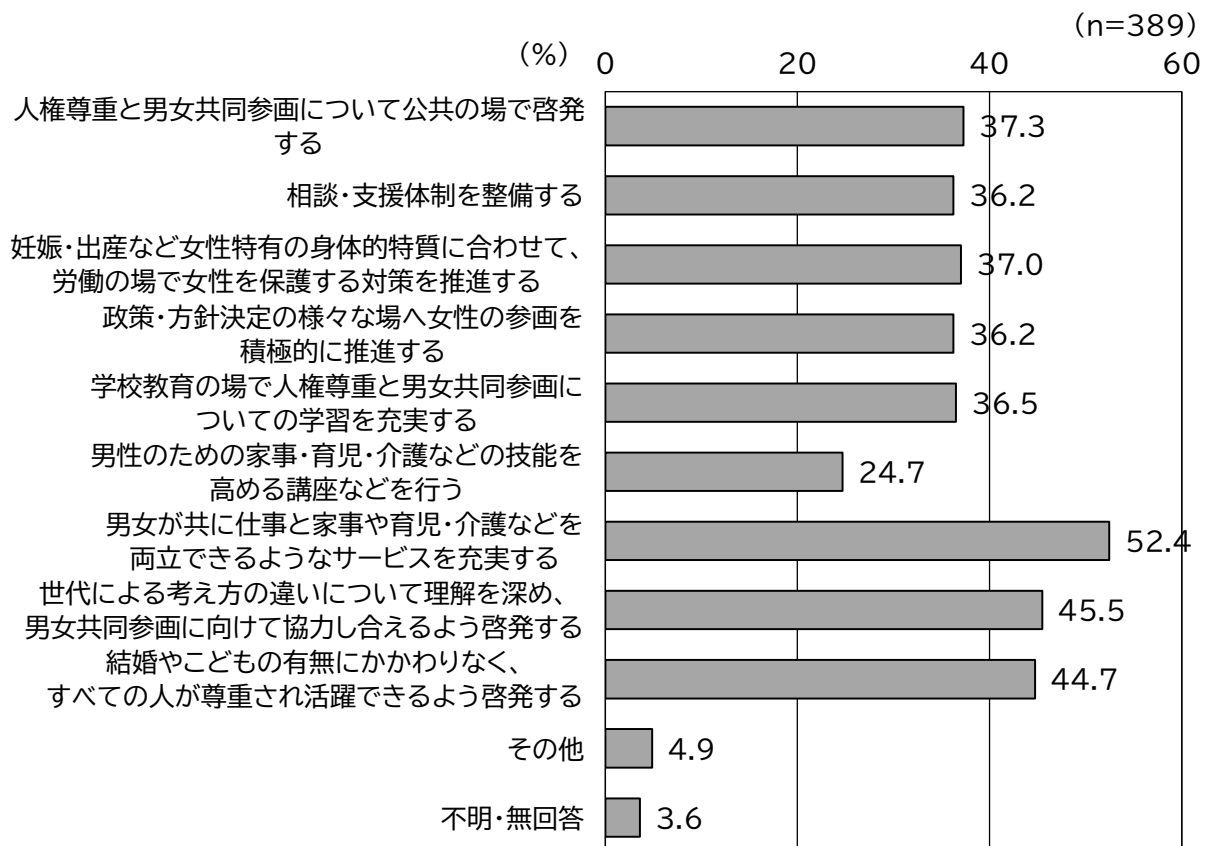
性別にみると、男性より女性の方が「知らない」の割合がやや高くなっています。

		(n)	知言 つ葉 ても いる 内容 も	まと言 でが葉 はあは 知る聞 らが ない 内容 こ	知 ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		389	4.1	20.3	72.8	2.8
性別	女性	216	4.2	18.1	75.0	2.8
	男性	168	4.2	23.8	70.8	1.2
	答えたくない、分からない	1	0.0	0.0	100.0	0.0

7. 能勢町への要望についてお尋ねします

問17 男女共同参画社会を推進していくために、今後どのようなことが必要だと考えますか？あてはまる番号すべてに○をつけてください。

全体では「男女が共に仕事と家事や育児・介護などを両立できるようなサービスを充実する」が52.4%で最も高く、次いで「世代による考え方の違いについて理解を深め、男女共同参画に向けて協力し合えるよう啓発する」が45.5%、「結婚や子どもの有無にかかわらず、すべての人が尊重され活躍できるよう啓発する」が44.7%となっています。



◇男女共同参画社会を推進していくために、今後どのようなことが必要か「その他」の回答

内容
移住者（新しい人）を入れていかないと町の考えは変化していかないと。思う。
人口減少による地域社会の崩壊に対する施策を優先するべき。
考えられる内容はすべて常に検討が必要
全てはお金の問題と考えています。お金があれば心にも余裕ができ、過ごしやすい社会ができると思います。
「男女共同参画」という言葉が意識されなくなるほどに、他者の違いや背景を尊重し、思いやる想像力を一人ひとりが自然に持てるような取り組みが必要だと思います。
参加出来ない時の理由の明示
妊娠、出産と育児、介護、家事は別とすることが良い。
啓発や相談の機会を増やしても男女の差は変わらないと思う。

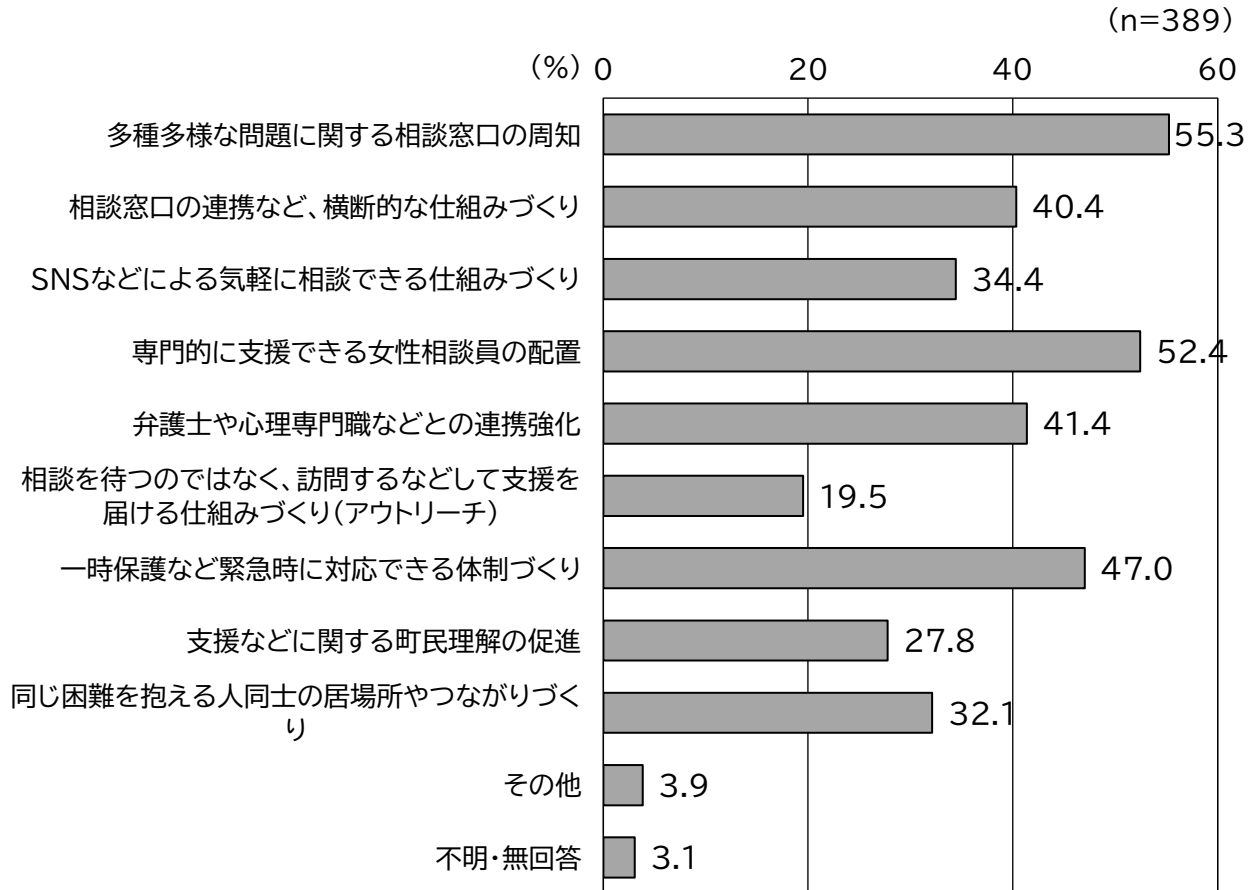
女性は、社会進出せず、家庭を守る方が良い。
男も家事・育児・介護をするのが当たり前であること自然に目に入るようなポスターやチラシ
若者が少ないことの方が問題
分業の方が、自然である。今、女性が担っている業務の重要性にフォーカスを充てるべきである。
いない

年齢別にみると、15～19歳で「男女が共に仕事と家事や育児・介護などを両立できるようなサービスを充実する」が87.5%で最も高く、20～29歳では「結婚やこどもの有無にかかわらず、すべての人が尊重され活躍できるよう啓発する」が76.5%と高くなっています。

	(n)	公共の場 で男女共 同参画に ついて	相談・支 援体制を 整備する	妊娠・出 産など、 女性特有 の身体的 保護に合 わせて、 労働の場 で女性の 権利を推 進する	政策・方 針決定に 様々な場 へ女性 の参画を 積極的に 推進する	学校教 育の場 での人 権尊重 と男女 共	男性の 技能を 高める 講座・ 育児・ 介護な どを行 う	男女が 共にし て仕事 と家事 や育児 ・介護 を両立 できる ような サービス を充実 する	世代によ る考え 方の差 を解消 し、男 女共同 参画に ついて	結婚や こども の有無 にか かわり なく、 活躍 する	その他	不明・ 無回答	
全体	389	37.3	36.2	37.0	36.2	36.5	24.7	52.4	45.5	44.7	4.9	3.6	
年齢	15～19歳	8	25.0	37.5	25.0	37.5	25.0	37.5	87.5	25.0	37.5	0.0	12.5
	20～29歳	17	29.4	35.3	64.7	29.4	35.3	29.4	47.1	47.1	76.5	0.0	0.0
	30～39歳	22	36.4	31.8	50.0	40.9	40.9	31.8	59.1	40.9	54.5	13.6	0.0
	40～49歳	46	17.4	30.4	32.6	32.6	28.3	21.7	50.0	45.7	41.3	8.7	0.0
	50～59歳	93	37.6	40.9	33.3	31.2	31.2	28.0	53.8	45.2	41.9	7.5	2.2
	60～69歳	160	46.3	36.9	40.6	42.5	44.4	22.5	53.8	47.5	44.4	1.9	2.5
	70歳以上	37	35.1	37.8	24.3	32.4	32.4	24.3	43.2	48.6	43.2	5.4	8.1

問18 令和6年4月に「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が施行されました。この法律は貧困やDV、性暴力などに直面する女性の自立に向けて公的支援を強化していくものです。このことに関して、あなたが特に町で取り組む必要があると思うものについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「多種多様な問題に関する相談窓口の周知」が55.3%で最も高く、次いで「専門的に支援できる女性相談員の配置」が52.4%となっています。



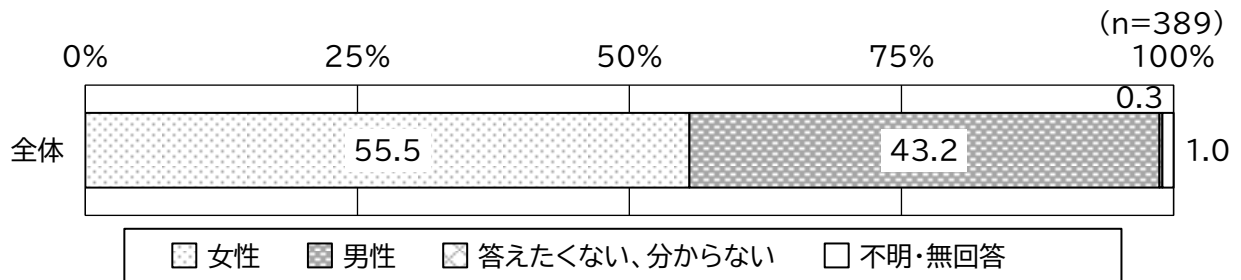
◇困難な問題を抱える女性への公的支援の強化に関して町で取り組む必要があるもの「その他」の回答

内容
公的支援する人材の教育強化（相談しておかしなことを言われた！）
夜間の相談窓口
民生委員などを活用し家庭訪問するなどが必要と思います。
制度ではなく、孤独な人などはやく見つけられるような地域の人々との関わりを重要視する必要があると思います。
困難な問題を抱える男性には公的支援は無しですか。
困難な事象の明示
性のみを特別に過剰に保護するため、逆に女性差別が無くならない。性別にかかわらず、片親の場合は経済的・物理的に親の協力の義務付け等をする。
女性の地位向上

8.最後に、あなた自身についてお尋ねします

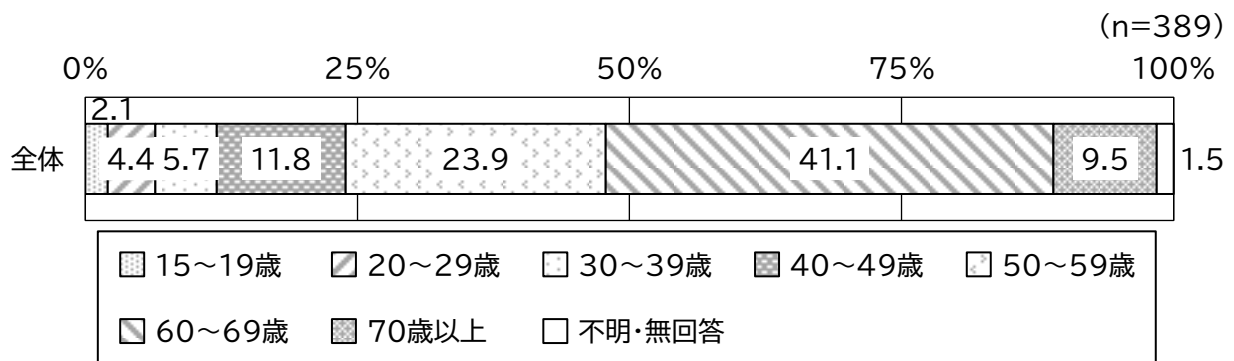
問19 あなたの性別を教えてください。

「女性」が55.5%に対し、「男性」が43.2%となっています。



問20 あなたの年齢を教えてください。

全体では「60～69歳」が41.1%で最も高く、次いで「50～59歳」が23.9%となっています。また、「15～19歳」からの回答は2.1%となっています。

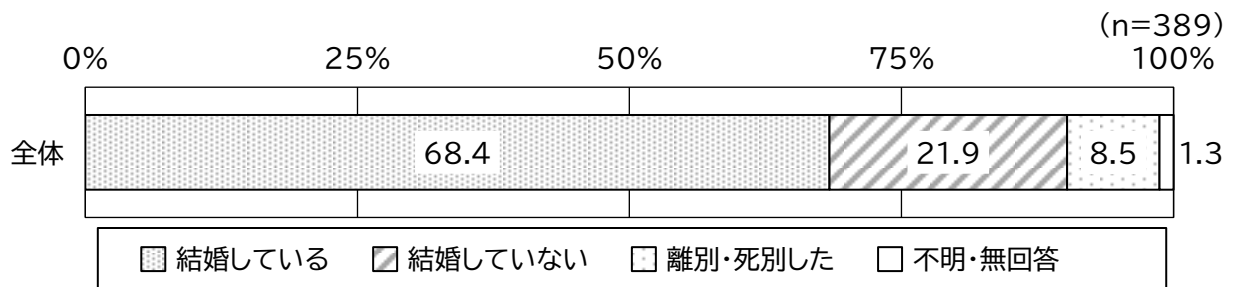


性別にみると、女性より男性の方が「60～69歳」の割合がやや高くなっています。

	(n)	1	2	3	4	5	6	7	不明・無回答	
		5 ～ 9 歳	0 ～ 9 歳	0 ～ 9 歳	0 ～ 9 歳	0 ～ 9 歳	0 ～ 9 歳	0 歳 以上		
全体	389	2.1	4.4	5.7	11.8	23.9	41.1	9.5	1.5	
性別	女性	216	2.8	3.2	7.4	12.0	25.9	38.4	9.7	0.5
	男性	168	1.2	6.0	3.6	11.9	21.4	45.8	9.5	0.6
	答えたくない、分からない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問21 あなたは結婚をしていますか？あてはまる番号1つに○をつけてください。

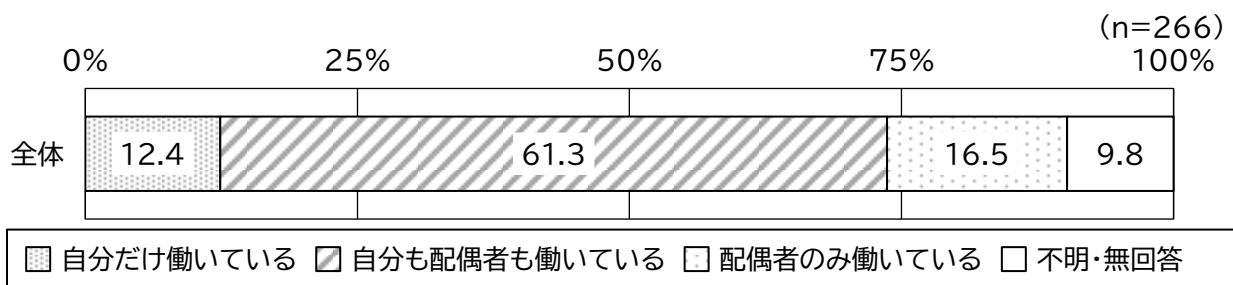
「結婚している」が68.4%で最も高く、次いで「結婚していない」が21.9%、「離別・死別した」が8.5%となっています。



【問21で「1」と回答された方に質問します。】

問22 あなたの家庭での就労状況について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

全体では「自分も配偶者も働いている」が61.3%で最も高くなっています。



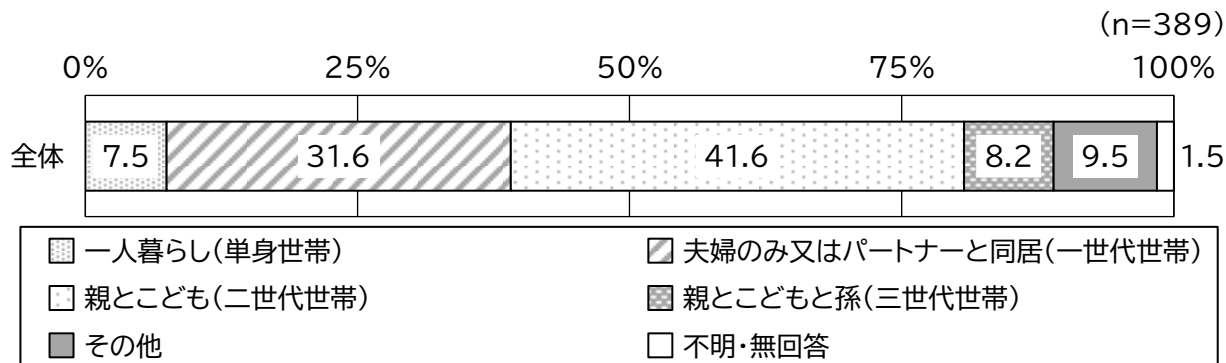
性別にみると、女性と男性ともに「自分も配偶者も働いている」の割合が高くなっています。また、女性より男性の方が「自分だけ働いている」の割合がやや高くなっています。

		(n)	自分だけ働いている	自分も配偶者も働いている	配偶者のみ働いている	不明・無回答
全体		266	12.4	61.3	16.5	9.8
性別	女性	146	7.5	61.0	20.5	11.0
	男性	119	18.5	61.3	11.8	8.4
	答えたくない、分からない	1	0.0	100.0	0.0	0.0

【全員にお尋ねします。】

問23 あなたの家族構成は次のうちどれにあたりますか？
 あてはまる番号1つに○をつけてください。

「親と子ども（二世帯世帯）」が41.6%で最も高く、次いで「夫婦のみ又はパートナーと同居（一世帯世帯）」が31.6%となっています。

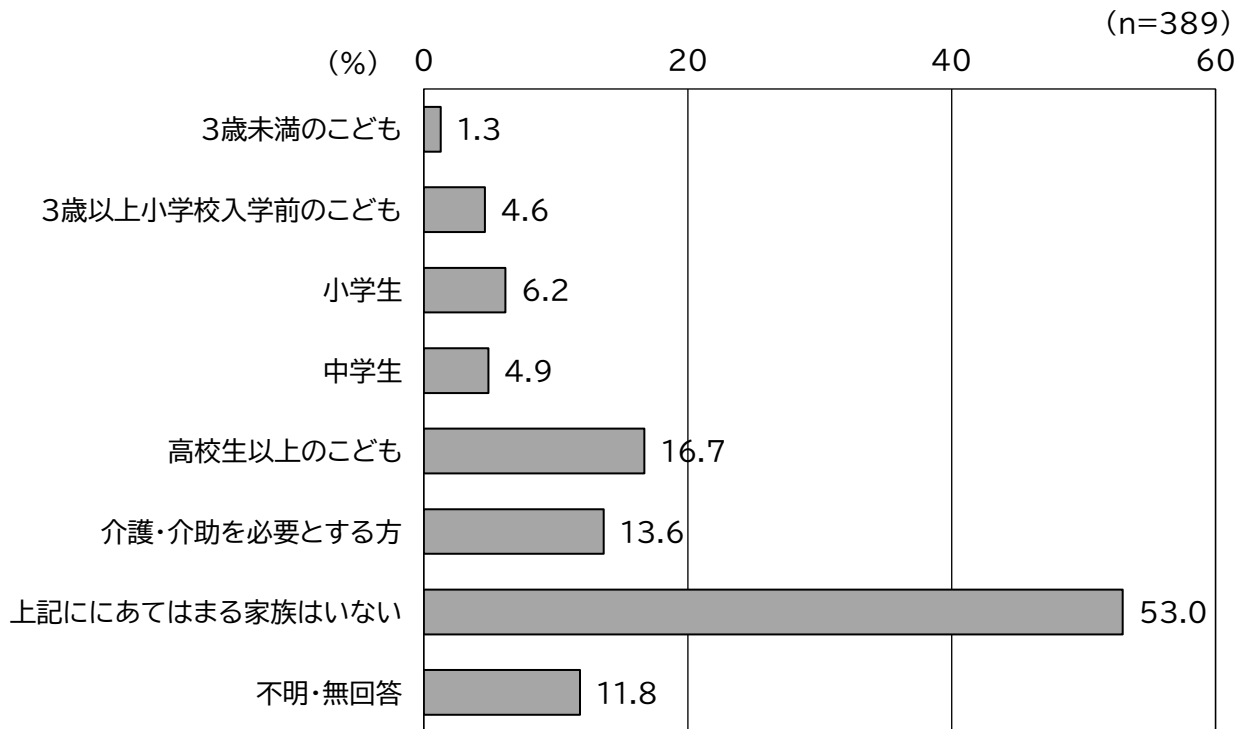


◇家族構成「その他」の回答

内 容	
親と兄弟 (3)	本人と母 (2)
夫婦と義母 (2)	祖父母
夫婦と子 (2) 親と夫婦と子供	夫婦と子 (単身)
親と夫婦と子供	夫婦、息子
親と子とおば 三世帯	義父 母
親と祖父	親と単身
親	夫婦と妻の姉
夫婦2人	姉弟
義理の妹	親類の家にいそろう
施設入所	常に介護を受けている単身世帯
四世代世帯	一つの土地に棟異いで住んでいる
四世代同居の10人家族でした。農業、介護、育児、仕事すべてやりました。	

問24 一緒に暮らしている家族の中で、次に当てはまる方がいらっしゃいますか？
 あてはまる番号すべてに○をつけてください。
 お子さんについては、あなたのお子さん（配偶者の連れ子を含む）についてお答えください。

「上記にあてはまる家族はいない」が53.0%となっています。



問25 男女共同参画について、家庭・地域・職場で日ごろから感じていることや、能勢町の施策について意見があればご自由に記入してください。

自由記述回答では、男女共同参画について、71件のご意見をいただきました。カテゴリー分類した意見数は以下の通りとなっています。回答内容としては、家庭や地域、自治会活動などにおいて、依然として性別による役割分担意識が残っているとの意見が多く見られるとともに、町の実情や制度が十分に知られていないこと、男女共同参画という言葉自体が分かりにくいことを指摘する声もありました。その一方で、人口減少や若い世代の定住、女性が働きやすい環境づくりを優先すべきとする意見も見られました。

男女共同参画についての自由記述回答(分類)

